

19	信友浩一	1990・9・19	～	1990・9・29	(2w)	病院管理	厚生省 病院管理研究所 医療管理部 部長
20	井手義雄	1990・9・19	～	1990・9・29	(2w)	病院管理	医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 企画部 部長
21	椎名丈城	1990・9・3	～	1990・11・2	(3m)	放射線科学	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師
22	鳥山 稔 ②	1990・11・21	～	1991・1・9	(2m)	耳鼻咽喉科	国立病院医療センター 医長 (耳鼻咽喉科 気管食道科)
23	藤田公生	1990・11・21	～	1991・12・31	(6w)	泌尿器科	国立病院医療センター 医長 (泌尿器科)
24	柳下芳寛 ②	1990・12・3	～	1991・2・2	(2m)	集中治療	国立病院医療センター 医長 (麻酔科)
25	堀内 正	1990・12・3	～	1991・2・2	(2m)	内科(呼吸器)	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師
26	橋口玲子	1991・2・9	～	1991・9・8	(7m)	小児科	東邦大学医学部第一小児科学教室
27	井手義雄 ②	1991・2・25	～	1991・3・15	(3w)	病院管理	医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 企画部 部長
28	岩山啓二	1991・2・25	～	1991・3・15	(3w)	病院管理	医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 企画部 課長
29	板岡慶憲	1991・5・22	～	1991・6・28	(1m)	内科(循環器)	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師
30	志賀淳治	1991・7・1	～	1991・8・31	(2m)	病理学	東京大学医学部附属病院 病理部 助教授
31	坂本恵美子	1991・8・16	～	1991・8・26	(2w)	看護管理	国立病院医療センター 看護部 副看護部長
32	田中倫子	1991・8・16	～	1991・8・26	(2w)	看護管理	国立病院医療センター 看護部 看護婦長
32	宇田川晴司	1991・10・6	～	1991・10・19	(2w)	外科	国家公務員等共済組合連合会 虎ノ門病院 医員
33	谷 昌尚	1991・10・6	～	1991・10・19	(2w)	外科	国立病院医療センター 第2外科 医長
34	杉原健一	1991・10・6	～	1991・10・19	(2w)	外科	国立がんセンター病院 医員
35	長嶋正實 ②	1991・12・9	～	1992・2・8	(2m)	小児科	名古屋大学医学部講師(小児科学)
36	藤田公生 ②	1992・2・21	～	1992・3・11	(3w)	泌尿器科	国立病院医療センター 医長 (泌尿器科)
37	鳥山 稔 ③	1992・2・24	～	1992・3・25	(1m)	耳鼻咽喉科	国立病院医療センター 医長 (耳鼻咽喉科 気管食道科)
38	与五沢利夫	1992・2・24	～	1992・4・22	(2m)	麻酔科	国立病院医療センター 医長(麻酔科)
39	定免茂昭	1992・3・4	～	1992・11・30	(9m)	放射線科(技師)	JICA
40	井手義雄 ③	1992・4・27	～	1992・5・16	(3w)	病院管理	医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院 副院長
41	山田多佳子	1992・5・20	～	1992・8・17	(3m)	小児科	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師
42	木下牧子	1992・5・27	～	1992・8・17	(3m)	内科	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師

サカケル 総合病院 加以外 調査活動記録

(派遣のしたる目的が調査活動であったもの)

1987・1～1992・5
(派遣順)

氏名	調査活動名	派遣期間	所属等(派遣時)
1. 古田直樹	事前調査	1987・1・23～1987・2・9	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
2. 仲佐 保	事前調査	1987・1・23～1987・3・22	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 医師(一般外科)
3. 我妻 堯	事前調査	1987・3・7～1987・3・21	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力部 部長
4. 古田直樹	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
5. 伊勢 泰	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 医師(小児科)
6. 仲佐 保	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 医師(一般外科)
7. 鈴木純子	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	国立病院医療センター 看護部 部長
8. 小山秀夫	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	厚生省病院管理研究所
9. 荻原久義	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	JICA 医療協力部 医療協力課
10. 田臥影三	技術協力事前調査	1987・6・26～1987・7・9	JICA青年海外協力隊事務局 派遣課
11. 大澤一郎	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	厚生省保健医療局 国立病院課 課長
12. 我妻 堯	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力部長
13. 伊勢 泰	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課医師(小児科)
14. 小畑美知夫	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	JICA 医療協力部 部長
15. 田臥影三	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	JICA青年海外協力隊事務局 派遣第一課
16. 渡辺 学	技術協力実施協議調査	1987・11・1～1987・11・16	JICA 医療協力部 医療協力課
17. 古田直樹	巡回指導調査	1988・7・22～1988・8・14	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
18. 西川昭司	巡回指導調査	1988・7・22～1988・8・14	JICA 医療協力部 医療協力課 加以外 担当
19. 古田直樹	計画打ち合わせ調査	1989・2・14～1989・2・26	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
20. 後藤 恵	計画打ち合わせ調査	1989・2・14～1989・2・26	厚生省保健医療局 国立病院課 課長補佐
21. 小島雅彦	計画打ち合わせ調査	1989・2・14～1989・2・26	JICA 医療協力部 医療協力課
22. 佐々木輝幸	巡回指導調査	1989・11・18～1989・12・1	厚生省 関東信越地方医務局 局長
23. 古田直樹	巡回指導調査	1989・11・18～1989・12・1	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
24. 新崎康博	巡回指導調査	1989・11・18～1989・12・1	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 医師
25. 浅野寿夫	巡回指導調査	1989・11・18～1989・12・1	JICA 医療協力部 医療協力課 課長代理
26. 東城康裕	巡回指導調査	1989・11・18～1989・12・1	JICA 医療協力部 医療協力課
27. 伊藤清臣	計画打ち合わせ調査	1990・5・23～1990・5・31	国立病院医療センター 国際医療協力部 派遣協力課 課長
28. 信友浩一	計画打ち合わせ調査	1990・5・23～1990・5・31	厚生省病院管理研究所 医療管理部 部長
29. 浅野寿夫	計画打ち合わせ調査	1990・5・23～1990・5・31	JICA 医療協力部

30.	高久史磨	計画打ち合わせ	1991・5・10	～	1991・5・19	医療協力課 課長代理 国立病院医療センター
31.	我妻 堯	計画打ち合わせ	1991・5・10	～	1991・5・19	院長 国立病院医療センター
32.	牧 玲子	計画打ち合わせ	1991・5・10	～	1991・5・19	国際医療協力部 部長 国立病院医療センター
33.	長谷川俊彦	計画打ち合わせ	1991・5・10	～	1991・5・19	看護部 部長 JICA 医療協力部 医療協力課 課長

(1992・5・25制作)

カカ入 総合病院に派遣された青年海外協力隊員

1987・1 ~ 1992・5

(派遣順)

	氏名	職種	派遣期間	配属先	出身地
* 1.	豊田 順子	看護婦		ICU	埼玉県
2.	西川 陽子	看護婦	1985・12 ~ 1987・12	手術室	愛知県
3.	稲葉 伸生	臨床放射線技師	1986・12 ~ 1988・12	放射線科	福岡県
4.	佐々木律子	看護婦	1986・3 ~ 1988・3	外科	北海道
5.	松浦 俊夫	臨床検査技師	1986・3 ~ 1988・3	検査科	北海道
6.	白神 康子	看護婦	1987・3 ~ 1989・3	ICU	大阪府
7.	荒木 育夫	臨床検査技師	1988・4 ~ 1990・4	検査科	熊本県
8.	柏崎志代子	看護婦	1988・4 ~ 1990・4	手術室	栃木県
9.	太田 律子	看護婦	1988・4 ~ 1990・4	小児科	神奈川県
10.	定免 茂昭	臨床放射線技師	1989・1 ~ 1992・1	放射線科	石川県
11.	清水 克枝	看護婦	1989・7 ~ 1991・7	ICU	宮崎県
12.	斉木 摩美	看護婦	1989・12 ~ 1991・12	手術室	大阪府
13.	足立 美鈴	看護婦	1990・3 ~ 1992・3	小児科	兵庫県
14.	佑成真由美	看護婦	1990・12 ~	外科	大分県
15.	蝦名 淳子	看護婦	1990・12 ~	ICU	青森県
*16.	鈴木真奈美	看護婦	1990・12 ~ (1992・2)	内科	北海道
17.	佐藤 弥生	助産婦	1991・7 ~	産婦人科	岩手県
18.	室富 美穂	臨床検査技師	1991・11 ~	検査科	福岡県
19.	橋本千代子	看護婦	1992・1 ~	手術室	茨城県
20.	野々尻優美子	看護婦	1992・1 ~	小児科	岐阜県

* 1 Sanjuan de Dios 病院より中途配置変更。

*16 92・2 より国家社会開発連帯委員会に配置替え。

* 1 及び 2 は カカ外 開始前の派遣。

(1992・5・25)

カウンターパート派遣研修実績

(1992. 6 現在)

氏名	職種	研修受け入れ期間	研修施設	研修科目
1. Dr. W. Rodriguez	医師 (病院長)	1988. 1.25 ~ 1988. 2. 7	国立病院医療センター 国立循環器病センター等	病院管理 (準高級研修)
2. Lic. G. Hinojosa	看護婦	1988. 2.11 ~ 1988. 8.13	国立病院医療センター	ICU/CCU 看護
3. Dr. T. A. Suarez A.	医師	1988.11. 1 ~ 1989. 2.28	国立病院医療センター	消化器内科
4. DR. E. Soliz Perez	医師	1988.11. 1 ~ 1989. 5. 2	国立病院医療センター	小児科
5. Lic. Maria Morales	看護婦	1988.11. 1 ~ 1989. 5. 2	国立病院医療センター	看護管理
6. Dr. Alfred Franco	医師	1989. 9.18 ~ 1989.10.21	国立病院医療センター	一般内科
7. Dr. Gustavo la Fuente	医師	1989. 7.10 ~ 1990. 4.18	国立病院医療センター	ICU
8. Dr. Vaca Diez	医師 (病院長)	1990. 1.29 ~ 1990. 2.24	国立病院医療センター 国立山口病院等	病院管理 (準高級研修)
9. Mr. Casimiro Cabral	技師	1990. 3. 7 ~ 1990. 7.10	㈱ ダイワ	医療電子電気 機器保守管理
10. Lic. Teresa Escalera G.	看護婦	1990. 2. 5 ~ 1990.11.18	国立病院医療センター	看護管理
11. Mr. Hugo Fernando	技師	1990. 5. 7 ~ 1991. 4. 3	㈱ ダイワ 他	医療電子電気 機器保守管理
12. Lis. Ana Maria Rodriguez	看護婦	1990. 8.14 ~ 1991. 4.28	国立病院医療センター	看護管理
13. Dr. Edwin Crespo	医師	1991. 1. 8 ~ 1991. 3.31	国立病院医療センター	胸部外科
14. Dr. German Antero	医師	1991. 1. 8 ~ 1991. 3.31	国立病院医療センター	脳神経外科
15 Mr. William A. P. Flores	放射線技師	1991. 8.11 ~ 1992. 3.17	国立病院医療センター	放射線科
16 Dr. Felipe J. Molina V.	医師	1991. 8.11 ~ 1992. 3.17	国立病院医療センター	小児科
17 Dr. Juan Justiniano E.	医師	1991. 8.11 ~ 1992. 1.21	国立病院医療センター	内科
18 Mr. Juan Carlos Jimenes V.	事務職員	1991. 8.11 ~ 1992. 1.21	聖マリア病院	事務部
19 Dr. Jorge Monasterio V.	医師	1991. 8.26 ~ 1992.12.21	国立病院医療センター	外科
20 ^{*)} Dr. Jose Carlos Camacho	医師	1992. 3. 3 ~ 1992. 4.30	刊国立ハカマダ病院	胃癌の診断と治療

20^{*)}: 第三国研修

その他の研修等

氏名	職種	研修期間	研修名	研修科目
1. Dr. Rony Colanzi Zeballos	医師	1988. 8.22 ~ 1988.11.11	JICA集合研修	消化器の病理学
2. Dr. Freddy U. Gutierrez V.	医師	1990. 1.15 ~ 1990. 3.14	JICA集合研修	早期胃癌診断
3. Dr. Aurelio Bernachi	医師	1991. 1.11 ~ 1991. 3.24	JICA集合研修	早期胃癌診断

(石油公社病院外科部長、日本病院運営委員)

病院運営経費について

保健省からの予算

保健省の下記の予算が執行されている。

- a) 人件費
- b) 給食費

当病院は診療収入により下記の経費を負担している。

- a) 消耗品購入費
- b) 医療用、事務用、施設・医療機器等の消耗備品購入費
- c) 病院施設改築等の工事費
- d) 病院との契約職員給与
- e) 超過勤務手当
- f) 地域物価調整手当
- g) 補足手当

◎サンタクルス市公共機関からの援助

サンタクルス市よりの援助

- a) 医療物品の供与(1987)
- b) 産婦人科用医療機器の供与(1989)
- c) 施設及び医療機器メンテナンス用工具の供与(1989)
- d) 救急外来の拡張工事費(1990)
- e) 電気料の補填(1988~1992)

サンタクルス開発公社

- a) 管理業務アドバイザー給与補填(1987)
- b) 事務長及び事務長補佐の給与補填(1987~1989)
- c) 医薬品購入費援助(1989)
- d) 運営近代化のための病院監査員派遣費補填(1990~1991)
- e) CT設置場所建設費援助(1992)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991
保健省よりの人件費	83,869	493,948	488,558	543,137	543,378	482,483
保健省よりの給食費	27,522	37,160	49,873	41,337	48,451	58,400
病院の診療収入	154,323	799,581	898,996	916,697	976,376	1,119,145
サンタクルス市役所	---	135,095	42,722	49,288	98,553	96,653
サンタクルス開発公社	---	9,457	18,461	47,516	22,373	30,000
その他	300,233	20,906	1,631	27,135	29,410	6,405
合 計	565,947	1,496,134	1,500,241	1,625,110	1,718,541	1,793,086

収支実績表

	1986	%	1987	%	1988	%	1989	%	1990	%	1991	%
医療収入	296784.31	95.52	1767074.89	74.52	2220522.02	58.02	272085.94	58.32	3308817.49	57.82	3821938.00	58.32
補助金	0.00	0.00	558803.47	23.62	1481051.71	40.02	2882236.27	42.02	234311.46	40.72	2884871.00	41.42
その他収入	1980.70	4.52	48169.04	1.82	4030.25	0.12	80841.03	1.72	88700.07	1.72	152286.00	2.22
収入合計	310755.01	100.02	2372047.34	100.02	3705603.88	100.02	4851137.24	100.02	5758828.02	100.02	6778888.00	100.02
人件費	187477.48	82.72	1170862.83	42.52	2473887.67	84.82	3385168.88	89.52	4058282.71	71.92	4868118.03	73.92
薬品衛生材料費	78177.32	23.52	748878.58	27.22	512225.95	13.52	781988.81	15.82	988712.77	17.42	1284781.16	18.12
一般経費	41275.51	13.82	358887.12	13.02	124065.47	3.52	148318.98	3.12	481348.88	8.72	529782.59	8.02
器具備品	0.00	0.00	28150.82	9.32	128441.99	3.22	35818.82	0.72	108224.17	1.82	33874.14	0.52
その他支出	0.00	0.00	222898.43	8.12	588018.88	14.82	54882.27	1.12	6344.60	0.12	24884.38	0.22
支出合計	288930.23	100.02	2758585.68	100.02	3818018.16	100.02	4881882.81	100.02	5542831.14	100.02	6838558.88	100.02
収支差	11924.78		-384538.34		-104415.18		-30755.43		189887.88		149347.12	

月別収支実績の推移 (1)

CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1988

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
CADUCIDAD INGRESOS	0.00	0.00	0.00	0.00	12376.00	25813.33	48198.75	35484.55	49537.00	19202.85	38815.39	85811.83	310755.41
1. INGRESOS DE OPERACION	0.00	0.00	0.00	8083.10	10822.10	24258.83	38042.25	33930.05	41982.50	15847.55	38080.00	84957.13	288782.31
1.1. VENTA DE SERVICIOS	0.00	0.00	0.00	8083.10	10822.10	23755.84	38004.40	33777.10	4189.70	15350.40	37200.50	81930.43	250485.57
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	892.99	837.85	152.95	813.80	289.15	774.30	2518.70	6278.74
2. OTROS INGRESOS	0.00	0.00	0.00	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.70	13980.70
2.1. NACIONALES	0.00	0.00	0.00	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.50	1554.70	13980.70
2.2. TRANSFERENCIAS	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2.3 OTROS INGRESOS	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3.1. SERV. PERSONAL	0.00	0.00	0.00	780.00	5413.00	25889.61	42974.23	32759.13	38584.70	34853.00	37088.82	79705.00	298630.33
3.2. SERV. NO. PERSONAL	0.00	0.00	0.00	0.00	5285.00	15288.50	24281.28	19538.10	28128.20	25122.00	20553.80	48554.40	187477.30
3.3. MATERIALES Y SUMINI.	0.00	0.00	0.00	0.00	3732.00	14827.71	4877.71	4927.71	3819.51	2740.11	4188.30	14801.84	41315.51
4. ACTIVO FIJO	0.00	0.00	0.00	0.00	4851.43	13785.71	8285.32	7844.00	6798.85	12368.20	18159.60	7017.32	60000.00
5. DEUDA PUBLICA	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(A) - (B) SALDO	0.00	0.00	0.00	6857.60	6882.62	-107.38	-2777.38	2725.42	3952.30	-15451.01	2516.68	8205.93	11924.78

CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1987

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
CADUCIDAD INGRESOS	282825.00	118781.78	173800.00	148227.75	183804.97	238432.48	174277.55	150889.30	206477.57	233191.84	232684.55	284783.71	2372087.34
1. INGRESOS DE OPERACION	167308.84	161284.00	13901.19	125047.45	170580.52	157889.50	149118.48	131208.85	168831.11	188851.78	197882.00	198108.00	1767074.83
1.1. VENTA DE SERVICIOS	163749.12	14448.75	10803.24	118175.40	144828.97	131282.74	139371.40	121083.75	152177.51	170755.38	180782.20	178540.00	1618440.33
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	3559.52	6847.33	7995.65	6072.05	12227.55	16606.08	15147.08	10103.20	14153.60	18100.40	17100.80	20627.30	158635.50
2. OTROS INGRESOS	115317.35	18487.78	57488.47	21188.30	21338.45	58593.34	25158.08	28821.44	48118.08	44240.18	38772.55	85815.61	604872.51
2.1. NACIONALES	157217.45	9.00	89500.00	0.00	0.00	0.00	9125.00	9125.00	0.00	10256.00	8125.00	10250.00	239342.45
2.2. TRANSFERENCIAS	16788.80	1438.96	37282.10	21188.30	10738.00	38336.32	14848.10	10842.50	38853.30	20887.60	27638.60	53840.00	319481.92
2.3 OTROS INGRESOS	1301.00	4106.88	1987.37	20.00	2007.65	11259.02	1884.98	2653.94	2093.10	4882.58	608.85	13425.61	48189.84
3.1. SERV. PERSONAL	158948.84	108070.00	182227.22	174209.82	187327.51	185383.18	235854.72	284489.04	288774.78	388605.24	252438.04	388219.50	2758585.88
3.2. SERV. NO. PERSONAL	2297.00	48919.00	33400.85	54045.92	17174.50	24880.00	144551.70	84890.74	84890.74	197748.00	141948.50	234444.00	170882.63
3.3. MATERIALES Y SUMINI.	28324.05	23787.30	34283.21	27380.07	28358.15	28273.00	31247.82	20043.15	35316.00	31458.72	31458.72	37381.41	356887.2
4. ACTIVO FIJO	34184.15	42489.15	58110.07	73482.84	55078.07	88437.07	80340.00	68887.85	82138.04	78884.84	88238.03	67335.10	488765.32
5. DEUDA PUBLICA	14088.78	15031.13	14330.18	14008.78	16588.00	14008.78	37819.78	47130.78	17091.78	42828.17	14844.78	38841.50	358158.92
(A) - (B) SALDO	275111.11	11883.53	275111.11	975111.11	425111.11	275111.11	12884.91	394.91	3832.91	1428.41	1004.91	5785.91	12884.91
(A) - (B) SALDO	125677.15	-60239.02	10873.44	-28175.07	-38897.54	33058.32	-81677.17	-12480.85	-287.18	-127213.50	-17771.48	-103435.79	-394529.34

月別収支実績の推移 (2)

CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1988

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
(A) TOTAL INGRESOS	261789.72	287327.20	313084.77	282576.32	361477.53	252389.05	283549.01	281004.65	333535.38	313108.38	235612.75	585393.24	3705603.98
1. INGRESOS DE OPERACION	187831.85	187448.83	200390.75	182812.70	153919.08	147306.03	180406.20	182854.41	212083.58	218442.07	148373.35	185573.89	2220522.82
1.1. VENTA DE SERVICIOS	172259.00	178329.43	188245.70	174319.50	144098.00	147306.03	174276.80	185455.27	201892.18	209591.83	137328.55	188005.80	2187932.40
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	15581.85	8918.40	12145.05	8498.20	9189.10	8518.05	6775.38	7198.14	10871.40	8850.14	3043.80	8568.09	132590.42
2. OTROS INGRESOS	7885.77	78880.37	105384.02	78783.82	148219.43	88770.87	88469.81	95250.24	128071.78	93724.28	88268.48	388789.35	1485881.88
2.1. NACIONALES	7885.77	78880.37	105384.02	78783.82	148219.43	88770.87	88469.81	95250.24	128071.78	93724.28	88268.48	313840.50	1329928.71
2.2. TRANSFERENCIAS			25425.00		28100.00			28887.50				72112.50	151125.00
2.3. OTROS INGRESOS												4630.25	4630.25
(B) TOTAL EGRESOS	348580.37	177952.84	308088.55	158130.83	337513.86	257138.81	487819.72	374882.18	324600.88	285809.42	180008.23	823714.08	3818819.18
1. SERV. PERSONAL	83558.27	101928.80	218883.20	83288.12	241087.93	188037.87	281273.81	272488.12	238775.00	218124.07	184441.40	434888.48	2473987.87
2. SERV. NO PERSONAL	3288.28	7117.42	3258.58	5182.40	15187.28	3847.14	8088.88	18882.44	14882.88	18858.28	1881.84	23788.84	32385.17
3. MATERIALES Y SUMINI.	1013.82	18734.51	38284.08	51383.34	48884.82	81838.12	31481.71	53887.84	71282.81	53738.88	21188.78	32838.85	513225.95
4. ACTIVO FIJO	495.47	854.87	28858.00	5213.41	30011.88	1288.15	3376.85	28823.88	28234.87	2723.88	518.00	0.00	120441.88
5. DEUDA PUBLICA	25803.35	48188.74	21258.78	1133.58	2412.15	14315.83	81883.75	1188.00	338.88	1385.88		132187.78	588818.88
(C) - (B) SALDO	-86793.85	88374.26	4888.22	188445.48	-38038.43	-4547.88	-124278.71	-88787.54	-555.58	17558.84	48573.52	-38358.84	-104415.18

CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1989

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
(A) TOTAL INGRESOS	218212.82	302327.27	352887.71	322889.33	358888.23	388888.35	388258.81	382444.85	404888.35	554272.70	372888.88	894777.78	4851137.24
1. INGRESOS DE OPERACION	218041.88	187877.80	208230.21	188184.48	215495.81	224888.43	238718.84	288888.88	248888.88	252187.70	288318.58	273888.21	2732888.84
1.1. VENTA DE SERVICIOS	218041.88	184283.85	208074.81	184287.48	207244.88	214747.85	224418.88	231288.88	224888.88	238888.18	218732.78	258888.11	2584888.83
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	8882.88	33888.85	4888.88	33888.85	8181.88	18852.78	18888.15	15418.88	18724.88	18782.88	18888.88	17371.88	197870.81
2. OTROS INGRESOS	12212.85	11488.47	14828.50	13858.87	14888.82	14488.82	14558.77	147824.88	18888.88	301588.88	13777.12	221224.88	2118871.88
2.1. NACIONALES	98187.14	9823.45	148884.82	138187.32	143412.82	143818.42	148188.82	142288.28	157578.78	143882.88	158388.12	288482.84	1741737.27
2.2. TRANSFERENCIAS	1127.88	1148.88	758.88	771.88	6.88	832.88	8.88	884.88	1701.88	148888.88	8.88	142478.88	288888.88
2.3. OTROS INGRESOS	22883.41	15188.88	737.88	1583.58	238.18	55.88	2352.15	4757.88	4813.88	11323.88	8381.88	8385.85	88881.88
(B) TOTAL EGRESOS	511143.38	375888.41	417951.53	323883.82	388888.81	388888.81	373888.48	388888.81	371882.15	347451.20	348188.88	788782.87	4881882.87
1. SERV. PERSONAL	223140.14	223888.45	258888.32	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	288888.82	3388148.88
2. SERV. NO PERSONAL	10424.88	8388.88	3204.43	807.10	11888.72	8888.82	13882.87	13882.87	8888.82	7838.43	15218.88	24548.88	148819.88
3. MATERIALES Y SUMINI.	7885.88	34544.88	37572.18	7588.88	7888.88	84172.82	71888.72	51888.88	8812.88	8342.28	57388.32	17888.88	781888.81
4. ACTIVO FIJO	1424.88	8.88	558.88	4147.28	2212.88	2188.88	1811.88	8277.88	1188.88	3888.15	4887.88	188.88	35878.82
5. DEUDA PUBLICA	282158.11	108857.84	118835.82	4184.88	4888.88	8.88	1841.28	2218.55	1887.88	518.84	2182.28	23848.88	548882.27
(C) - (B) SALDO	-170029.51	-73281.14	-65388.82	-978.88	-6889.88	-28884.72	8878.41	55417.85	82218.28	208822.44	38888.78	1105815.17	-30755.13

月別収支実績の推移 (3)

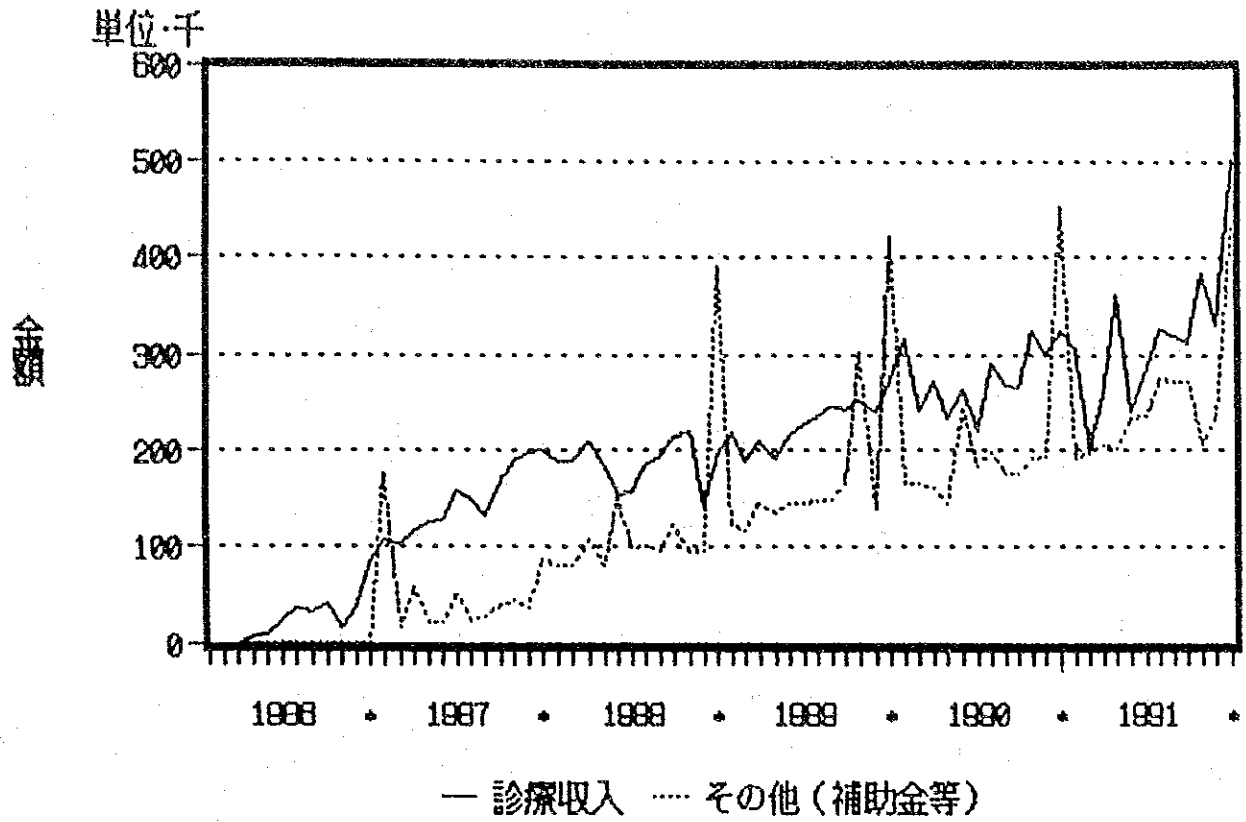
CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1980

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
(A) TOTAL INGRESOS	47888.01	48030.78	49552.24	37528.78	50321.81	401350.96	48565.21	42304.92	241288.88	513409.12	481838.35	775244.10	5750029.02
1. INGRESOS DE OPERACION	31420.05	241405.80	271278.18	231819.02	284388.70	219417.80	280807.28	287822.00	265812.50	322250.80	288753.10	323891.00	3308017.58
1.1. VENTA DE SERVICIOS	280895.75	217504.18	244748.18	209790.42	234525.25	182020.50	258445.02	235885.30	237303.50	288855.50	268848.00	287850.00	2861988.56
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	27389.36	23811.70	20527.00	22829.20	28813.45	25481.10	31482.18	32227.60	25509.00	33421.30	26987.10	38439.54	347830.53
2. OTROS INGRESOS	16452.00	18450.00	158276.00	144827.14	241802.91	183038.38	186759.01	175341.88	175308.38	191109.32	182888.25	451553.18	2441811.53
2.1. NACIONALES	11823.78	118843.78	118730.19	118730.19	215825.35	145088.70	182795.48	148184.20	145823.80	180090.11	159185.14	387322.28	2008302.77
2.2. TRANSFERENCIAS	25000.20	24921.84	24108.24	24921.84	23880.80	27841.30	28358.27	28843.28	21822.78	28834.80	33338.89	37838.84	335008.68
2.3. OTROS INGRESOS	21428.07	21873.35	18437.85	1573.11	2380.87	18109.27	5782.38	1114.48	1850.02	1112.58	384.45	18808.20	95780.07
(B) TOTAL EGRESOS	48081.27	370707.12	382586.24	300893.85	403245.08	423307.41	425410.05	435010.07	474784.24	471435.24	480780.37	872332.11	584883.14
1. SERV. PERSONAL	203455.38	271888.78	271427.18	217734.35	350373.80	308744.78	310574.08	311035.80	324447.85	328081.24	248035.24	678582.88	4058292.71
1.1. SERV. NO PERSONAL	31387.83	30181.08	38270.71	28880.46	38815.04	43446.73	42853.77	38189.61	53417.31	45381.23	45815.14	51801.00	481348.88
1.2. MATERIALES Y SUMINI.	78000.72	68281.25	67589.60	55718.20	82094.51	88821.08	80441.13	88816.11	87774.11	91831.97	88835.30	151718.58	988712.77
1.3. ACTIVO FIJO	98511.33	249.00	5088.94	235.00	2782.45	2272.00	703.15	703.15	828.00	75.00	2318.54	2639.25	168223.17
5. DEUDA PUBLICA	1618.00	245.00	2289.68	0.00	0.00	0.00	544.88	270.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4344.88
(C) - (B) SALDO	18487.74	35329.88	47085.00	15503.11	42885.62	-23830.45	61248.18	8254.25	-33575.38	41807.28	850.98	-107087.93	160887.88

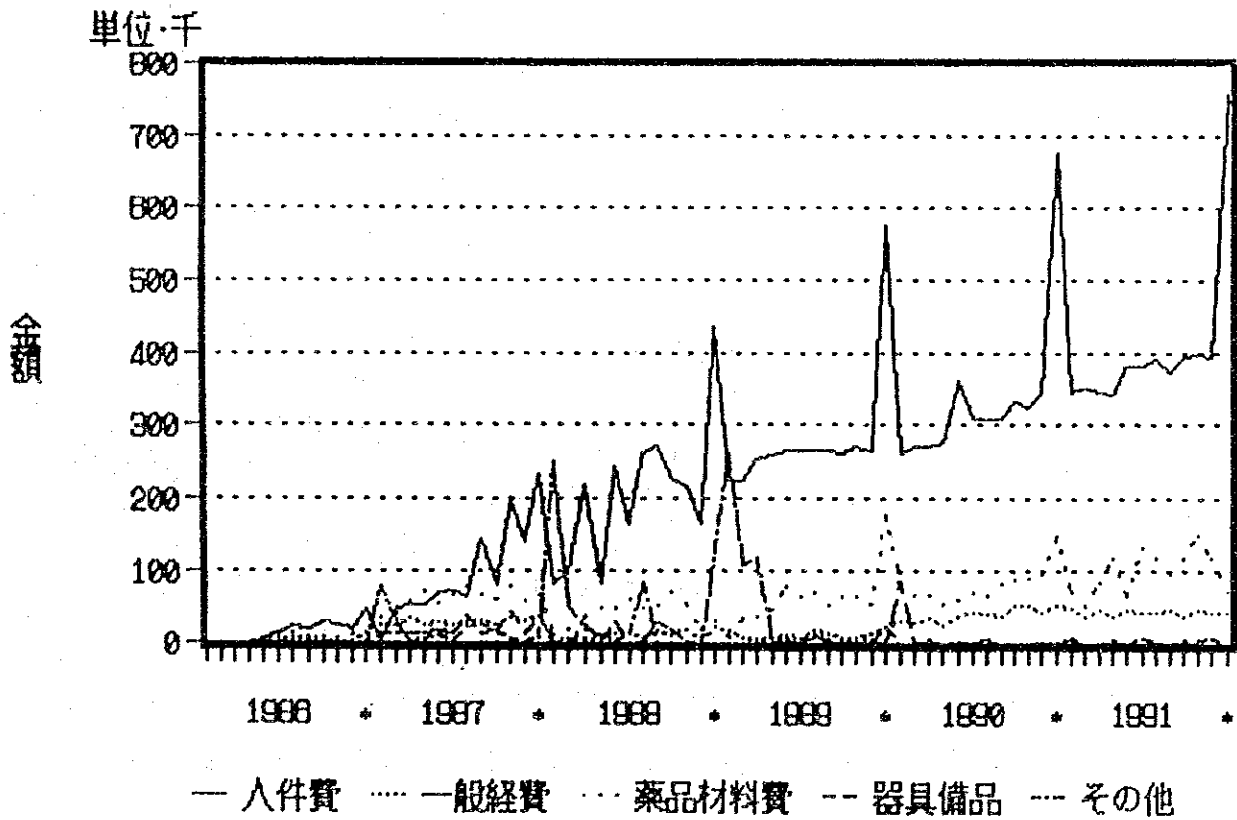
CUADRO DE INGRESOS Y EGRESOS GESTION 1981

MESES	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE	TOTAL
(A) TOTAL INGRESOS	48277.50	38834.00	48084.00	58120.00	47213.50	51814.00	58832.00	58250.00	582000.00	58259.00	58710.00	836573.00	677888.00
1. INGRESOS DE OPERACION	388250.00	18002.00	257829.00	38810.00	28358.00	283478.00	325285.00	310877.00	382529.00	382529.00	380440.00	503155.00	3821930.00
1.1. VENTA DE SERVICIOS	273120.00	17888.00	232887.00	338437.00	22522.00	258881.00	288335.00	287848.00	278814.00	351481.00	285112.00	422782.00	3488328.00
1.2. VENTA DE PRODUCTOS	33121.00	20814.00	23842.00	28573.00	17897.00	25588.00	25850.00	31728.00	33120.00	31838.00	35528.00	36973.00	358513.00
2. OTROS INGRESOS	18027.50	18782.00	20318.00	20810.00	23337.50	233818.00	27488.00	27803.00	272800.00	205830.00	237870.00	433418.00	2858850.00
2.1. NACIONALES	158152.50	188578.00	174245.00	173838.00	182855.50	184872.00	284517.00	288385.00	324684.00	178801.00	183882.00	483552.00	2488852.00
2.2. TRANSFERENCIAS	33745.00	28050.00	28028.00	28834.00	28825.00	39458.00	28131.00	28131.00	28131.00	28131.00	28131.00	28131.00	354738.00
2.3. OTROS INGRESOS	130.00	4.00	45.00	38.00	1807.00	18258.00	41300.00	37377.00	18871.00	188.00	23347.00	735.00	152288.00
(B) TOTAL EGRESOS	48478.73	44174.21	41848.38	50459.58	48219.77	58877.12	55899.82	51884.88	53817.88	50482.73	58587.10	874112.83	688858.88
1. SERV. PERSONAL	34885.75	388180.84	348880.72	348880.72	388180.84	388180.72	32181.43	381885.00	388180.72	388180.72	388180.72	758812.88	488818.88
1.1. SERV. NO PERSONAL	5120.88	38582.52	48848.88	38110.88	48208.20	43486.12	43123.35	48208.20	48208.20	48208.20	48208.20	44671.52	58818.88
1.2. MATERIALES Y SUMINI.	7323.38	33882.08	85883.05	11728.23	88823.82	131882.00	118244.77	87810.52	117881.00	158888.88	118731.82	33888.88	288782.58
4. ACTIVO FIJO	6888.64	0.00	215.78	5883.38	0.00	18283.00	1847.85	1847.85	8872.38	8830.38	0.00	6.00	284781.16
5. DEUDA PUBLICA	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	33874.14
(C) - (B) SALDO	6788.77	-45288.24	-17320.38	68388.44	-21588.27	-47829.12	4342.18	75844.81	38822.58	-13233.73	2182.98	82480.37	148847.12

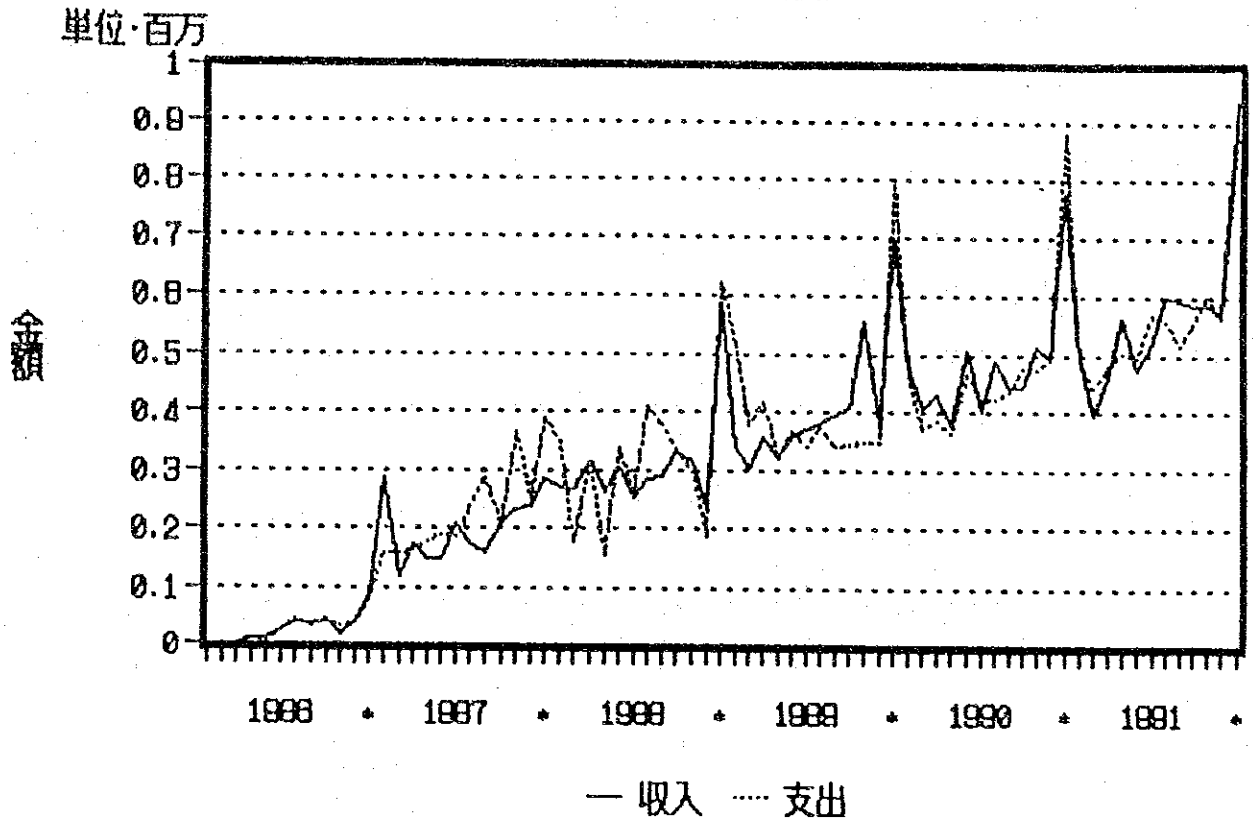
収入推移



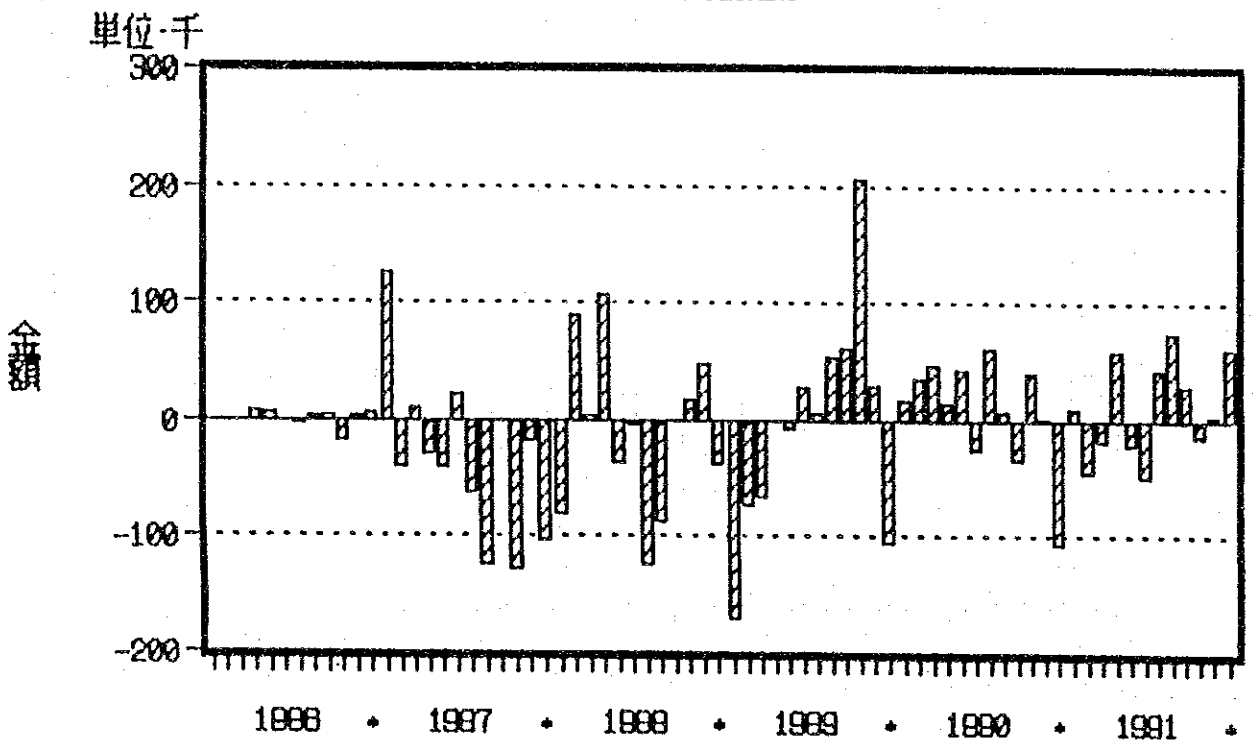
支出推移



収支実績値推移



収支差推移



(4) 第二フェーズ要請書

日本語要約

1992年より1997年における日本病院の展望

JICA技術協力への第2フェーズ要請

サンタクルスー1992年1月

1992年より1997年における日本病院の展望
JICA技術協力への第2フェーズ要請

1. 背景

1-1 ボリビアの現状

ボリビアは総面積1,098,591 km²、人口約6,405,100人(1988年)、人口増加率2.7%出生率5.0、そして乳幼児死亡率147/1000と南米では最も高い。(統計局資料より)

ボリビア政府は、保健医療分権化による国家保健医療政策に努力している。これはWHO及びOPS(パナマ保健機構)のアンデス隣接国保健協力を通じて、「西暦2000年までに全ての人に健康を」を目標に下記の実施によるプライマリヘルスケアの促進をはかるものである。

- a) 地域医療促進システムによる医療サービスの向上
- b) 母子保健の強化、
- c) 感染症予防対策、
- d) 麻薬中毒予防対策、
- e) 緊急医療体制整備、
- f) 衛生環境整備

保健医療改革及び保健医療の分権化の過程の中で、保健省は州衛生局の計画、管理の元で地域医療分割システムを推進している。

—サンタクルス—

人口は、1990年現在613,201人、人口増加率は年間全国最高の7%に達している。市は5つの地区に分割され、それぞれの地区に担当病院が割り当てられている。

当初は、当病院の担当地区として第二地区(137,172人)、第五地区(74,148人)の2カ所が割り当てられた。

世界銀行との協定による保健医療基盤整備経済協力により保健医療プロジェクトの第1フェーズとして地区別保健医療改革が進められ、当サンタクルス総合病院は病院は第2地区、第3地区、第5地区の担当病院として位置付けられた。担当地区人口合計は327,710人で(1992年推定 374,710人、1997年推定 525,000人)これはサンタクルス市人口の53%に当るものである。

国立病院群(サントスピリトゥス郡、ベルニーボラソン郡、マリオリバイス小児科により構成されている)は、第1地区及び第4地区を受け持つ。その人口合計は285,915人にあり、市の47%に当る。

以上のように市を大きく西地区、東地区に分けられ、当病院は東地区を受け持つものである。

1-2 プライマリヘルスケアの目標とその現状について

ボリビアはWHO/OPSにより医療協力の重点国として宣言され、保健省に対し技術協力が行われおり、当病院が実施している予防接種プログラム、教育及び医療関係者の技術向上プログラム、更に保健医療システム及び地域医療計画の組織構成への援助などが実施されている。しかし、その目標は、現状からほど遠い状況にある。

2000年までの最低目標	現 状
1. 平均寿命 >70	53.1 (WHO所属機関)
2. 乳児死亡率 <30*	109.9 (WHO所属機関/1990年)
3. 幼児死亡率 <2.4*	48 (国立統計局1989年資料)
4. 予防接種率 100%	47% (保健省)
5. 医療機関設置率 100%	70% (保健省・WHO・世界銀行)

以上のような状況により、ポリビア保健省は、乳幼児及び周産期の検診、各地域の感染症対策及び医療機関の充実を図っている。

その目標は1993年までに：

- 1) 妊産婦死亡率 - 50% (24.7/出生1000、資料：世銀1988、保健省1989)
- 2) 周産期死亡率 - 30%
- 3) 乳児死亡率 - 50%
- 4) 幼児死亡率 - 30%
- 5) 地域感染症予防対策の強化
- 6) 医療従事者の充実と質の向上
- 7) 保健医療機関の管理体制の改善と補助機関の支援

保健省の組織改革にともない、地域医療分権化による管理体制の元で各保健医療機関のレベルごとの改善をはかる。これにより保健省の業務は、方針の決定及びその監督の範囲にとどまり、実施については地域医療分割システムの中で分割された地区ごとの担当病院及び保健所により推進される。

国家保健医療政策は、国立保険医療機関が26%、民間医療機関が5%、民間援助団体(NGO)による医療機関が1%、そして国立医療機関が38%を受け持っているが、残り30%の地域が医療の受けられない地域として放置されている。(資料：保健省、世銀1988)

保健省は、少ない財源をより効率よく運用するため必要政策の集中的実施を図る。また、国際的な援助においても情報の提供を行い、その方向性を統一し効率、効果の向上を図る。

2. 保健医療分野の経済状態

ポリビア国民総生産の0.2%が保健省予算で、生産性のある部門は増加気味であるが保健省予算は減少傾向にある。1987年の国民1人当りの平均所得は\$580であった。

保健行政費は、保健省予算が50%、海外援助が30%、そして各病院の診療収入が20%、これにより保健医療行政を賄っており国民一人当りの保健医療費は\$14で、それに対し保険加入者平均医療費\$36である。(保健省1988年資料)

現在の労働法による最低賃金(月額)はBs120(\$32)、失業率は20%

(1986)で、国民は収入の殆どを衣食費に費やされている状態である。

このような状況により、国民医療の向上のため衛生行政の再検討が必要不可欠となり、母子保健等の予防的な保健医療の政策改革が進められている。

- a) 地域医療への参加
- b) 公共機関として効率的な運営体制への改善
- c) 国家保健政策を担う実施機関として、管理運営体制強化のための組織改革
- d) 医療サービスとそのコストを調査し、全ての市民に均等な医療の提供を行うための運営体制の確立
- e) 人材の育成及び教育の推進、医療内容の分析・評価の実施による質的医療サービスの向上

3. 日本病院

1978年3月22日、日本政府、ボリビア政府の両国により技術協力協定が結ばれた。更にボリビアよりサンタクルス市への総合病院無償資金供与要請が運営における全責任を保健省が持つことを条件に日本政府へ提出された。1983年8月29日その調印がなされた。

この調印により下記の公共機関よりローカルコスト負担を行った。

- a) サンタクルス開発公社 : 30,062m²の提供及び地盤整備 (30cmの地盤積上げ)
- b) 水道組合 : 水道管布設及び下水の整備
- c) 電気組合 : 電気配線配備
- d) 電話組合 : 電話線の布設 (5ライン)
- e) 石油公社 : ガス配管整備

更に、サンタクルス州衛生局、サンタクルス市、医師会等の支援を受け病院建設の基盤整備を行った。

1986年3月15日、サンタクルス総合病院が日本政府より供与され、保健省より30万ドルの開院準備資金と必要な職員の定員獲得が約束される。

しかし、保健省よりの30万ドルが遅れたため開院作業の遅延を余儀なくされた。その結果、杜撰な体制で病院開院を急いだため、病院は開院1年半(1987年)にして\$142,921.08の債務を生んだ。

1987年12月、日本政府の技術協力が開始され、専門家による技術指導、研修員受け入れ、必要機材の供与、教育活動支援等の協力活動が実施された。

1988年、運営改善のための病院運営調査が実施され、1989年運営改革が推進された。

1989年1月には\$240,593.52にまで累積債務が達した。しかしその後の管理部門の改善(経営の合理化、会計、物品、人事の管理改善等)により1990年度においては\$31,698.78の貯蓄をするに至った。もちろん病院の社会的役割である「全ての患者に平等の医療提供」という義務を怠ることなく多く貧困患者への診療も実施した。

4. 病院運営経費について

一保健省からの予算

保健省の下記の予算が執行されている。

- a) 人件費
- b) 給食費

一当病院は診療収入により下記の経費を負担している。

- a) 消耗品購入費
- b) 医療用、事務用、施設・医療機器等の消耗備品購入費
- c) 病院施設改築等の工事費
- d) 病院との契約職員給与
- e) 超過勤務手当
- f) 地域物価調整手当
- g) 補足手当

◎サンタクルス市公共機関からの援助

一サンタクルス市よりの援助

- a) 医療物品の供与(1987)
- b) 産婦人科用医療機器の供与(1989)
- c) 施設及び医療機器メンテナンス用工具の供与(1989)
- d) 救急外来の拡張工事費(1990)
- e) 電気料の補填(1988~1992)

一サンタクルス開発公社

- a) 管理業務アドバイザー給与補填(1987)
- b) 事務長及び事務長補佐の給与補填(1987~1989)
- c) 医薬品購入費援助(1989)
- d) 運営近代化のための病院監査員派遣費補填(1990~1991)
- e) CT設置場所建設費援助(1992)

	1986	1987	1988	1989	1990	1991
保健省よりの人件費	83,869	493,948	488,558	543,137	543,378	482,483
保健省よりの給食費	27,522	37,160	49,873	41,337	48,451	58,400
病院の診療収入	154,323	799,581	898,996	916,697	976,376	1,119,145
サンタクルス市役所	-----	135,095	42,722	49,288	98,553	98,653
サンタクルス開発公社	-----	9,457	18,461	47,516	22,373	30,000
その他	300,233	20,906	1,631	27,135	29,410	6,405
合 計	565,947	1,496,134	1,500,241	1,625,110	1,718,541	1,793,086

5. 病院目的及び目標

1983年より、保健省はファミリーヘルスケア促進のため、国立病院の業務目的及び組織の再検討を行い、病院機能の拡張強化のための各診療レベル別病院運営規定を作成した。

1985年、市の主要公共機関により構成される運営委員会を最高運営責任機関とする非中央集権日本病院が保健省々令（省令0230）により承認され、更に運営委員会の運営体制強化のため1991年保健省よりポリピア初の分権化病院として位置付けられた。（保健省令0615）

- a) 外来患者、入院患者への診断、治療の医療の提供及び調査・研究
- b) 医療の質の向上のための人材育成
- c) 調査・研究及び教育の推進
- d) 保健医療政策に則り、地域医療の向上、促進

病院開院当初、当病院は設備及び医療機器の内容により第3次医療病院として位置付けられた。産婦人科病棟開棟とともに総合病院機能が整備され、2次・3次医療の総合病院として機能している。

6. 病院現状評価

病院は1986年より段階を得て全病院を稼働させた。

病院の診療活動は：

- a) 一般外来、救急外来診療
- b) 入院病棟での診療
- c) 診療補助部門（臨床検査科、X線科、生理機能検査科）
- d) 院内における地域保健医療活動
- e) 防疫活動
- f) 特別治療（理学療法科、聴力検査科等の補助診療科）

6.1-外 来

外来の診療は、各診療科の一般診療とその時々が必要に応じて設ける特別外来診療がある。

各診療科及び専門科については下記の通り：

1. 内 科

一般内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌内科、神経内科、精神科、腎臓内科、皮膚科、血液内科

2. 外 科

一般外科、泌尿器外科、耳鼻咽喉科、外傷外科（整形外科）、脳神経外科、血管外科、眼科、理学療法科、形成外科、

3. 小児科

小児科、小児外科、小児神経科、小児精神科、小児泌尿器科

4. 産婦人科

5. 歯科

6. その他、補助診療科

視力検査・視野測定科、聴力検査科、理学療法科、言語療法科、栄養指導科

一 外来診療実績 一

1987年より1991年の外来患者数については下記の通り：

年 度	患 者 数
1987年	34,816
1988年	42,674
1989年	55,591
1990年	62,203
1991年	52,714
合 計	247,988

科別の割合

内科 38.3% 外科 21.7% 小児科 19.8%
産婦人科 10.1 歯科 9.9%

13、15頁のグラフで示すように1987年より1990年まで患者増加が続いたが、1991年に至っては減少している。

グラフで示すように1989年、1991年に患者数の落ち込みが見られるが、これは保健省職員の長期ストライキのため一般外来が閉鎖されたためである。更に保健省が進めている地域医療促進によりこのサンタクルス市においてもサテライトによる一次医療が促進されており、そのため市内国立病院の一般外来が減少気味であることもである。

6.2-救急外来

救急外来は24時間稼働しており、14頁のグラフで示すように1987年より1991年まで継続的な患者の増加が見られる。

また救急外来患者の約70%が入院しており、特に交通事故等による重傷患者も多く、救急病院的性格を年々強めている。重度な救急患者の対応が可能であるのはこのサンタクルス州、更に近隣の州も含め当病院が唯一であり今後も患者は増加傾向にある。地域のニードから救急部の強化は必要不可欠である。

6.3-入院部

入院部において1990年と1991年を比較し、外科、内科、ICUにおいて患者数は幾分減少している。小児科については産婦人科の開棟に伴い特に顕著な患者数増加を示している。また産婦人科病棟は1990年10月より開棟し1991年は1035名の入院患者数であった。

1991年の平均在院日数は全体で9.0日、内科-10.7日、外科-10.3日、小児科-8.1日、産婦人科-3.5日、ICU-7.1日である。

産婦人科病棟は、開棟して以来まだ1年あまりのため病床利用率は44%と低く今後一層の努力を必要とする診療科である。在院日数が3.5日と短いため効率が良く今後に期待できる。

平均病床利用率は72.3% (1991年) とサンタクルス市内の国立病院では最高を記録している。

7. 1992年～1993年の活動目標

1. 分権化病院としての運営体制の向上
2. 保健医療政策に則り地域医療の推進
3. 運営委員会直轄の診療監査室の設置
4. 貧困患者受け入れ促進のための財政基盤整備
5. 病院保険診療システム設立
6. 患者保護体制の強化
7. 継続的な診療技術の向上
8. 病院管理システムの改善
9. 情報入手の迅速化及び会計・物品管理のコンピュータシステム導入
10. 消耗物品管理体制強化
11. 中間管理職の業務指導
12. 医療関係資料・情報課の新設
13. 患者受付課の新設 (医事課体制の改革)
14. 薬局の充実と24時間運営の実施
15. 病院機器管理課の強化
16. 人事管理体制の強化
17. ソーシャルワーカー課の改善
18. 院内感染委員会の設置
19. 血液銀行の強化、改善
20. 母子保健の推進を目的とした産婦人科の入院患者増加と貧困患者受け入れの促進
21. コロナリーアングオ促進のための基盤整備
22. 救急センターとしての救急外来の診療体制強化
23. 耳鼻咽喉科、眼科、脳外科の診療促進のための特別診療科の創設
24. 診療部門の改善
 - a) 内分泌科の強化
 - b) 糖尿センターとしての機能充実
 - c) 甲状腺疾患治療、検査実施のためのガンマーグラフの設置
 - d) 感染症患者特別治療室の整備 (結核病等)
25. 保健衛生教育の促進
26. 継続的な人材育成及び専門家の技術向上 (医師、看護婦、技師等)
27. 疫学的調査に主要疾患の診療向上
28. 教育・研究活動の体制強化

8. JICA技術協力

1987年11月12日、サンタクルス総合病院プロジェクトのための技術協力協定を結び、同年12月1日よりプロジェクトが開始された。

当プロジェクトは、R/D (RECORD OF DISCUSSIONS) により、サンタクルス市民の保健医療に寄与し、市の中心病院となるべく、医療技術協力及び病院機能の向上のための技術協力を行うことを目的と定められた。

その中で重要なことは、技術協力チームにより患者中心の医療体制作りが進められその理念を学び、その基本精神の基でより合理的且つ効率的な診療体制の基盤作りが推進されていることである。病院として社会的役割を果たすための基盤整備するために、技術協力チームは病院運営委員会への病院の運営方針決定についての有効な助言を与え、病院執行部に対し病院資材及び人材の合理的、効率的利用における指導を行いその業績は賞賛に値するものである。

その推進のため下記の協力が実施された。

1.- 技術協力活動 (専門家による)

専門家の派遣：長期派遣専門家9名、短期派遣専門家41名 計50名

分野：外科、小児科、泌尿器外科、整形外科、放射線、耳鼻咽喉科、
麻酔科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、病理、ICU
放射線技師、機材保守整備、看護

2.- 研修員受入

JICAの協力により計24名の研修員が受け入れられた。

研修別人数：個別研修-19名、集合研修2名、協力隊のサポート研修3名

職種：医師-11、看護婦-6、病院管理-3、
放射線・機材整備技師-4

3.- 機材供与及びその管理、整備

診断医療機器の供与は診断、治療の技術向上に多大な効果を与えた

- 供与機材：超音波診断器、CTスキャン、内視鏡、腹腔鏡、パノラマX線
内視鏡ビデオシステム等

治療のための医療機器の供与は患者への医療サービスに直接的な向上をもたらした。

- 供与機材：呼吸器、輸液ポンプ、救急カート、人口透析器、ベッド用電子体重測定器等、

そして、臨床検査科の医療消耗資材の供与、手術器具の供与は患者に、病院に大きな利益をもたらした。

更に、病院機器の部品供与は病院機能維持のため何にも変えがたいものであり、専門家の協力により機器保守管理システムの基盤が整備されたことは感謝に敗えない次第である。

供与機材総額：US\$1,888,000
(1987/12~1991/12)

4.- 病院管理分野における技術協力

病院幹部、診療医長、事務長との会議及び院内観察を通じ適切な助言の提供を行う。

5.- 教育部への協力

教育部活動の促進のため必要機材、図書の援助を通じ活動支援を受ける。

6.- マニュアル、テキスト等の作成

マニュアル、テキスト、年報等の作成援助及び製本協力を実施する。
(図書リスト別紙参照)

7.- 評価活動

派遣調査団及び技術協力チームにより病院運営評価が実施され病院の向上のための指針を残す。

以上が1991年に評価したJICA技術協力の実績を要約したものである。

モデル病院としての病院運営の理念と基本姿勢をより深め、診療サービス並びに病院管理体制の確立のため、更に患者へのより良い医療サービス提供のため、JICA技術協力の継続を切に希望する次第である。

図書リスト（マニュアル・テキスト等）

1. 消化器ガン学会抄録集
2. 救急における外傷治療管理（1、2）
3. 外科主要疾患、診断・治療マニュアル
4. 小児科学テキスト（セミナー用、技協専門家作成）
5. 各科主要疾患診断・治療マニュアル
6. 胆道ガン取扱い規約テキスト（英文）
7. サンタクルス総合病院年報（1990年）
8. 放射線撮影技術マニュアル
9. 看護管理マニュアル
10. 手術室看護マニュアル
11. レジデント業績集

9. 国家保健医療政策に則り当病院の現状分析と5年間のJICA技術協力及び今後の病院5カ年の展望とJICA技術協力の第2フェーズ要請

1. 背景

現在当病院は、この第1フェーズプロジェクトの約5年間において診療部門、管理部門においてまだ向上を必要としながらも、その発展は目覚ましいものがある。規模及びその内容から最も機構的に複雑であるにもかかわらず、組織的な充実度及び社会的貢献度は、日本から供与されたラパス、コチャバンバ、スクレ、ベニ等の国立病院をも含めボリビアにおいて最高位を誇るものである。

分権化病院として市の主要公共機関の責任において運営され、当病院の目的を果たすための決定推進機関として活動しており、病院運営のモデルとして重要な役割を果たしている。同時に、JICA技術協力の援助により多岐に渡るアドバイスを受け、技術的な指導及び日本での研修による技術習得により向上してきた。

以上については、ボリビア政府及び日本からの調査団により評価されている。1991年5月26日より5日間、アメリカ ワシントンにおいて第1回全米（北、中、南米）病院学会がWHO主催により開催された。全米25カ国より各国1病院から5病院の代表が出席した。そのボリビア代表として出席したのが当病院である。

以上のように、日本より供与されたサンタクルス総合病院は確実な実績を残している。

2. 1992年より1997年の5カ年の展望及びJICA技術協力の必要性と妥当性

1991年5月14日の日本政府調査団「訪」ボの際、現在のプロジェクト進捗状況をボリビア、日本の両政府により評価され（1991年5月14日のCOORDINATING COMMITTEE報告）、同時に今後の技術協力の継続についても検討された。この件について下記の内容が実施の指標となる。

- a) 国家保健医療政策
- b) 地域医療促進
- c) サンタクルス州、市の人口増加率
- d) 将来的な見地から病院機関の現状及び可能な患者受け入れ能力の分析
- e) 二次・三次医療病院としての病院体制
- f) サンタクルス州及び国家レベルの学術研究センター病院
- g) 疫学的研究センターとしての病院活動
- h) 自主管理運営体制の確立

a) 国家保健医療政策

保健医療政策は保健省により決定され、当病院はその保健医療政策に則り、地域医療における医療政策を促進しなければならない。

現政権により推進されている下記の3点は、当病院において実際的に見いだすこ

とができる。

1) 分権化:

1991年7月18日、当病院はボリビア国初の分権化病院として省令第0615により承認された。この経験及びその組織構成が、今後の国家医療機関により構成され運営されてゆく保健医療地方分権システム（各州の主要機関を最高運営機関として地域医療を推進するシステム）の前身的モデルとなる。

2) 地域社会参加による運営:

当病院は国立病院組織でありその運営管理は州衛生局並びに地域の12公共的機関により構成されている。

- 州政府
- 市役所
- ガブリエル レネ モレノ自治大学
- 州医師会
- サンタクルス振興委員会
- 専門職種連合会
- 民間企業連合会
- 州中央労働組合
- 農業協同組合
- 公共事業組合連合会
- サンタクルス開発公社
- 隣組連合会

このような機関が運営に参加している病院は国内において唯一であり、地域社会の代表機関が社会的利益のために運営参加するというモデル体制を築いている。

3) 母子保健: 産婦人科病棟の開棟は総合病院としての機能を完成させ、同時に国家保健医療政策において最優先に挙げている母子保健政策の強化に沿ったものである。

b) 地域医療計画

地方分権化による地域医療促進において、効率的な医療サービスの提供が推進されている。保健省の代表である州衛生局によりサンタクルス市は5分割され、各地区の担当により管理されると同時に、当病院は5地区の内の3地区（第2地区、第3地区、第5地区）のリフェラル病院として位置付けられている。その人口合計は凡そ32万人にも達する。

当病院の目的は、衛生局との調整を通じて各地区の担当との医療連携体制の確立を目指すものである。病院と各地区の各医療機関との情報交換及び相互による患者診療体制は最小限のコストによる効率的な地域医療の体制作りを可能にする。

その過程として、当病院診療幹部会と各地区担当との業務調整により地域医療を推進し、更に衛生局との調整により地域医療連携体制の規定を整備することにより

市内の全ての医療機関への実施も可能にするものである。

その意味するところは、

- 1) 特別な人員の増加を行わず、最小限のコストで当病院の地域医療促進活動が実現できる。
- 2) 各地区と病院間により継続的な情報交換ができる。
- 3) 医療機関の役割分担を明確化することにより医療活動の重複が避けられる。

c) サンタクルス市の人口増加

サンタクルス市の人口は現在凡そ70万人であり、西暦2000年には150万人にまで増加すると予想されている。

このサンタクルス市内の病院の平均病床利用率は凡そ50%で、利用率としては低い。しかしながら、当病院の平均病床利用率は、まだ開棟して以来十分に機能していない産婦人科病棟(病床利用率44%)も含め、現在75%に達している。診療科によっては90%を超えるものもある状況で、国際基準として妥当な病床利用率とされている80%を越えており、満足できるものである。以上のようにこの市内においては最高の病床利用率を上げており、これはより良い医療提供に努めていることが、市民に認められた証であると考えられる。

このような状況から、一般的な病院運営の指標と比較し当病院の病床利用率は限界に近付いていることが確認できる。

d) 病院の状況

病院の運営状況については、前述の通りであるが、それをまとめると次の通りである。

- 1) 一般外来の利用率は、60%程でありまだ十分ではない。
- 2) 入院病棟については、平均病床利用率75%、外科、内科にいたっては80%~90%、ICUではほぼ100%近い。
- 3) 副診療部門の利用数は、改善され伸びてきているが、まだ改善の余地はある。
- 4) 救急外来においては1991年に充実した人員の配置を行い約2万人の患者を診療した。しかしながら、建物のスペースに限界が生じたため、市の援助により救急外来の施設増設を行った。
今後産婦人科入院病棟の利用が高まり(80%)、それに伴い外来も増加し、活動が高まった場合には、救急における産科用の診療施設を改築しなくてはならないだろう。

以上のことから、入院部門においては物理的限界に近い状況であること、また一般外来については、まだ患者数を増やす余地を十分もっていることが理解できる。

このような状況を考慮し病院の向上を目指すため下記のような病院体制の改革を考えなければならない。

1. 外傷外科センター

当病院の施設及び医療機器設備（CT、アンギオ、ICU等）を有効に生かし、外傷外科、脳外科を独自の診療科として創設し、事故等の患者の救急外傷センターとしての機能を充実する。サンタクルス市においては、国内移住による人口増加が市内外において著しく、そのため交通事故等の件数が急増している。

2. 火傷外傷センター

当病院の形成外科と病院機能を十分に生かし、火傷外傷センターとして充実をはかる。

3. 耳鼻咽喉科診療体制

4. 眼科診療体制

上記2科におけるこの5年間の診療状況実績は、満足できるものではなく、また責任体制も明確ではない。

眼科においては診療器具及び機器（レーザー手術機器等）の充実と担当医の責任体制を明確化し、推進することにより短時間で眼科センターとして強化が可能である。診療収入面においても期待できる一方、貧困患者の診療サービスにおいても貢献できる。

耳鼻咽喉科においても同様であり、各科を専門診療科として独立させ機能の改善をはかる。

5. 糖尿病センター（通院患者への指導等）

6. 放射線治療

7. 臨床検査部におけるホルモンの免疫学的検査の実施（TSH、T3、T4等）

8. 肺結核患者特別治療病棟の設置

当病院には結核による重傷呼吸器障害患者が多く、内科病棟において約10床の結核患者治療室（男子用、女子用）を設け診療しているが、他の患者と同じ病棟内にあるため環境としては適切ではない。サンタクルス市内には、サンファン・デ・ディオス病院に結核棟があるが常に満床状態であり、その面から特別病棟の設置を必要とする。

当病院の担当地区の人口は32万人、その人口も国内移住により急増している。更に当地の亜熱帯気候も影響し、結核患者数は急速に増加しており、衛生行政の対応も追い付かない状態である。

当病院としても短期、中期、長期計画として結核対策を考慮することは必要不可欠である。

9. 冠疾患の診断のためのシネアンギオ検査システムの整備

10. ペースメーカー銀行の創設

心疾患特にシャーガス病が原因となる心疾患は多く、若年世代にも少なくない。その唯一の対策はペースメーカーであり、貧困患者のためのペースメ

—カー銀行の創設は必要である。

1 1. 血液銀行整備

現在、上記の診療を実施していくに当り、当病院の血液銀行ではそれに応える機能は持たない。今後専門病院としてその整備が必要である。

1 2. 消化器、泌尿器科の強化

胆石症及び尿管結石・腎結石症は疾患として非常に多く、その治療技術のレベルアップのため結石破碎装置は非常に有効である。

1 3. 病理解剖室の整備

病理解剖促進のための整備について、病理検査室と解剖室を近くに移転する可能性を考える必要がある。

1 4. 法医解剖の実施

病理解剖設備を利用し、法医解剖を実施する。

1 5. 理学療法及びリハビリテーション室の設置

e) 2次、3次医療病院としてのレベルアップ

以上に挙げたプロジェクトは、各診療科のみならずそれに続く個々の専門分野の診療レベル向上につながり、現在の2次医療レベルから総合的な3次医療病院とし充実することができる。

重要なことは、このサンタクルス州においてはこのような条件の整った病院は、存在せず、これからも今世紀内にはできないということが確実なことである。

現在、ボリビア保健省の方針は、プライマリーヘルスケアを第1優先とし、病院等の医療機関の充実が方針として上げられていない。もちろん、プライマリーヘルスケアの充実が必要不可欠であるが、それと同時に病院と各診療所及び地方病院との連携による地域医療の促進も必要である。診療所と専門科病院の連携による医療サービスによって適切な医療サービスが保証されるものであり、逆に時が経過し病院が機能しない状態になってしまえば患者は危険にさらされることとなる。

約70万人の人口をもつこのサンタクルス市において、2次、3次医療の提供ができる設備の整った医療機関は唯一当病院だけである。今後10年間は、政府の方針により病院機関の設備充実が実施されることはないであろう。当市は西暦2000年には150万人程に人口に膨れていると言われているが、その時代においてこのサンタクルス州で2次、3次医療を提供できる医療機関は当病院だけであることは疑う余地のないことである。今後の医療事情を考慮し3次医療病院として整備された病院体制を築く必要がある。

f) 教育病院としての病院機能

当病院でレジデント教育がされて以来、1987年には国家レジデント教育委員会より当病院の内科、小児科、外科におけるレジデント教育プログラムが高く評価され、1988年にはスクレ市で行われたレジデント教育会議で、当病院のレジデント教育プログラムがボリビア国レジデント教育のモデルとなり、現在国内の病院においてその教育プログラムが実施されている。

更に、サンタクルス市においては州レジデント教育委員会により大学院教育シス

テムの一環としてレジデント教育が行われており、その教育プログラムも国家レジデントプログラムとして受け入れられた当病院のものが使用されている。

サンタクルス市の私立大学では医学部の開設が計画されており、また国立ガブリエル・ネネ・モレノ自治大学においても近い将来医学部を開設する予定である。

ボリビア国第2の都市であるこのサンタクルスに医学教育の場がないことは考えられないことである。

そのような状況から、全ての条件を備えた当病院が教育病院としてサンタクルス州、更にボリビア国のパイロット機関となることは疑う余地のないことであり、そのための教育施設（500人収容の講堂及び教室）は必要不可欠である。

現在は中規模以上の教育活動（講習会等）は他に施設を借り行っており、当病院の有する会議室には病院職員の1/5も収容できない状況である。

g) 研究病院としての病院機能

臨床病院として研究活動を強化することの重要性は言うまでもないが、その研究技術の向上のためにはJICA技術協力は必要不可欠である。

h) 自立運営体制強化のための特別病棟開設

当地における中高階層者の特質から、当病院の入院病棟の環境は彼らの要求を充たすものでないため、そのクラスの入院患者が少ない。現状ではこのクラスからの診療収入は期待できない状況である。

特別病室の開設が可能であれば、入院部門の収入も増収しその収入により貧困患者の受け入れも増やすことができる。

以上の理由により特別病棟の開設は、病院自立運営体制を保障するものであり、更に社会的貢献度も高くすることが可能である。

i) 産婦人科病棟の開設

当病院の建設計画（1982年）において産婦人科病棟は、当地にペルシイボラン母子病院があるため除かれていたが、その数年後それが申請における失策であったことを明らかにした。

国家保健医療計画について（母子保健強化政策）と地域医療計画の地区分担医療促進については前に述べた通りであるが、その促進のため当病院は完全な総合病院としての機能を要求された。そのため1990年10月にサンタクルス市の資金援助を得て産婦人科病棟を開棟し、内科、外科、小児科、産婦人科を基盤とした4診療科体制による総合病院となったわけである。

この産婦人科病棟の開棟は、当病院を完全な総合病院機能とする必要性から暫定的な手段としてとった処置である。

しかしながら、今後も入院患者が増加しつつある現状と、今後の計画として挙げている内科、外科特別診療科の充実をはかるため、現在使用している3階産婦人科病棟を内科、外科の特別診療科病棟として開棟することが強く望まれている。

産婦人科の外来診療は開院以来機能している。診察室は、以前は内科外来診療部に置かれていたが、その後小児科外来診療部側に移転した。現在は患者数がまだ少

ないためこの体制でも対応できているが、今後患者の必然的増加により産婦人科外来部門も対応しきれない状況になることは明白である。

以上のようなことから、産婦人科の入院・外来部の建設が必要であり、更に出産などの救急処置ができるような設備を考慮しなくてはならない。特に母子保健の見地から周産期医療の機能を備え、当市の50%の人口と、他の市より送られてくる患者の診療に対応できる規模のものが必要である。

ーサンタクルス総合病院ー日本病院のJICA技術協力申請についてのまとめ

前述の通り、このサンタクルス総合病院が第2～第3次医療の総合病院として、更に教育・研究センター病院として国際的に競争できるポリピアのモデル病院になると同時に、地域医療のための先駆的な病院として貢献し、サンタクルスの、そしてポリピア国の医療機関の発展の原動力となるためには、第2フェーズとしてのJICA技術協力が必要不可欠である。

申請内容のまとめ

1) 建設部分について

- a. 産婦人科病棟（周産期医療施設を兼ね備えたもの）
- b. 特別室病棟（30床）
- c. 講堂（500人収容）、教室及び図書室
- d. 放射線治療室（内科病棟内）
- e. 理学療法及びリハビリテーション室
- f. 病理解剖室

2) 技術協力

- a. 教育システム（各専門分野の向上と将来的に大学病院としての教育基盤作り：ガブリエルレネモレノ自治大学及びその他の私立大学との協定により実施予定）
- b. 臨床研究における技術協力
- c. 法医学における技術協力
- d. 財政管理及び病歴管理システムにおける技術協力

3) 機材供与及び機材メンテナンス

- a. ガンマカメラ
- b. 結石破碎装置
- c. レーザー光線を利用した眼科用手術機器
- d. シネアンギオ（当アンギオにシネアンギオ機能を補足する）
- e. ペースメーカー
- f. 血液銀行機材
- g. 法医学解剖機材

4) 病院管理

病院管理における長期の技術協力

サンタクルス、1992年1月

(5) 終了時評価調査での収穫資料リスト

収 集 資 料

I. 実 績 報 告

1. 病院活動報告 (西文)
2. 看護部報告 (")
3. 救急外来部報告 (")
4. 患者統計 グラフ (西) 表 (和)
5. 収入実績 グラフ (西)
6. 収入、支出実績表 (和)
7. 1991年収支表 (西)
8. 携行機材リスト (和)
9. 供与機材リスト (和)

II. アン ケ ー ト

- アンケート用紙 (患者、一般、病院) (和)
- アンケート回答 (外来、入院、一般) (西) (和)
- " (母子病院、S J D病院) (西)
- " (サンタクルス衛生局長) (西)
- " (公共事業組合連合会) (西)
- " (サンタクルス医師会) (西)

III. 関 係 者 リ ス ト

- 運営委メンバーリスト (西)
- 病院各部門責任者リスト (西) (和)

IV. そ の 他

- 運営委員会定款 (和訳)
- Phase II 要請 (西)

I - 1 看護部報告

INFORME TECNICO-ADMINISTRATIVO

DEPARTAMENTO DE ENFERMERIA

GESTION 1991

INTRODUCCION.- El Departamento de Enfermería, por su amplitud y complejidad tiene la gran responsabilidad de brindar una elevada calidad de atención al paciente, durante las 24 horas del día y los 365 días del año, desempeñando funciones y actividades propias de Enfermería.

OBJETIVO.- El objetivo principal del Departamento de Enfermería es brindar una elevada calidad de atención al paciente, familia y comunidad, mediante la ejecución de actividades orientadas a la promoción de la salud, prevención de la enfermedad, curación y rehabilitación del individuo enfermo.

ASPECTOS ADMINISTRATIVOS.-

Recursos Humanos.- El Departamento de Enfermería cuenta con un total de 75 Enfermeras de las cuales 53 son licenciadas y 22 son enfermeras generales. Del total de Enfermeras, 63 tienen ítem y 12 están contratadas con fondos propios. Se cuenta también con un total de 64 auxiliares de enfermería y 9 técnicas instrumentistas. Del total de 64 auxiliares, 60 tienen ítem y 4 son contratadas. Del total de 9 técnicas instrumentistas 5 tienen ítem y 4 son contratadas.

Selección de personal: La selección del personal de Enfermería se basa en el reglamento de Concurso de Méritos y Competencia con participación del Colegio de Enfermeras.

Distribución de personal y movimiento: El personal de enfermería está distribuido según la necesidad de cada servicio, como se puede observar en el cuadro N^o 2.

CRONOGRAMA DE ACTIVIDADES.- El cronograma de actividades es elaborado en participación de las Jefes de Servicio y según las necesidades de los mismos y del requerimiento de personal. Cada mes de Diciembre el Consejo Técnico de Enfermería evalúa el Plan anterior y planifica el de la siguiente gestión.

EOQ/csd

CRONOGRAMA DE ACTIVIDADES DE LA JEFATURA DE ENFERMERIA-GESTION 1991

ACTIVIDADES	ENERO	FEBRE	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIE	OCTUBR	NOVIEM	DICIEMB
	<p>1. Participar en la visita general por pisos y piezas.</p> <p>2. Planificar y ejecutar reuniones de coordinación con: a) Mantenimiento b) lavandería c) Limpieza</p> <p>3. Planificar y ejecutar reuniones de coordinación docente-asistencial con las Docentes de la U.E.B.</p> <p>4. Planificar y ejecutar reuniones con Supervisión (cada 2do. miercoles)</p> <p>5. Reunión mensual con el Consejo Técnico de Enfermería (c/3er.miercoles)</p> <p>6. Reunión mensual con el Consejo Técnico Médico (c/ 15 días)</p> <p>7. Elevar informe general a Dirección y a Unidad Sanitaria.</p> <p>8. Reuniones para planificar y ejecutar actividades con diferentes Comités: a) Actividades Sociales b) Actividades Deportivas</p> <p>9. Elaborar el Plan de rotación anual para: a) Enfermeras b) Auxiliares de Enfermería</p> <p>10. Evaluación Anual a todo el person.</p> <p>11. Evaluación del Plan Operativo 1991</p> <p>12. Elaboración del Plan Operativo 1992</p>											

EOG/csd

CRONOGRAMA DE ACTIVIDADES EDUCATIVAS - GESTION 1991

ACTIVIDADES	ENERO	FEBRE	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPTIEMBRE	OCTUBRE	NOVIEMBRE	DICIEMBRE
1. Seminario Taller por Servicios: Emergencia y Terapia Intensiva Pediatria y Gineco-obstetricia Cirugia y Quirófano Medicina y Consulta Externa												
2. Seminario Taller sobre Administración de Enfermería (en Santa Cruz y otros Departamentos) -En Santa Cruz -En Sucre y Tarija												
3. Simposio con Enfermeras del Japon												
4. Seminario Taller sobre Administración de Enferm. (Honduras)												
5. Elaborar y publicar la 2da. Ed. del libro de Administración de Enfermería.												

EQQ/csd

PERSONAL DE ENFERMERIA

SEGUN NIVEL DE FORMACION Y FORMA DE CONTRATACION

P E R S O N A L	C/ITEM	CONTRATO TEMPORAL	TOTAL	ENF. JAP. VOLUNTAR	ENF. EXP. JAPONESA
L I C E N C I A D A S	45	8	53	6	1
E N F E R M E R A S G E N E R A L E S	18	4	22		
AUXILIARES DE ENFERMERIA	61	4	64		
T E C N I C A S I N S T R U M E N T I S T A S	5	3	9		
T O T A L	128	19	148		

FUENTE: Elaboración propia

/csd

PERSONAL DE ENFERMERIA CON BAJA PRE Y POST- NATAL

POR MES Y NIVEL DE FORMACION

"HOSPITAL JAPONES"

1.991

MES	TOTAL	ENFERMERA	AUXILIARES
TOTAL	48.	19	
ENERO	3	2	1
FEBRERO	5	4	1
MARZO	4	3	1
ABRIL	10	7	3
MAYO	8	7	1
JUNIO	4	3	1
JULIO	6	4	2
AGOSTO	5	4	1
SEPTIEMBRE	10	7	3
OCTUBRE	5	4	1
NOVIEMBRE	3	0	3
DICIEMBRE	4	3	1

Nota: el promedio es de 2 enfermeras por mes y 4 auxiliares por mes con bajas pre ó post natal.

**DISTRIBUCION DEL PERSONAL DE ENFERMERIA POR SERVICIOS
SEGUN NIVEL DE FORMACION Y FORMA DE CONTRATACION**

GESTION 1981

SERVICIOS	LICENCIADAS		ENFERMERAS		AUXILIARES		TECNICAS		TOTAL ITEM	TOTAL CONTR	TOTAL GENERAL	ENFER VOLUNT
	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR				
SUPERVISION	4								4		4	
CONSULTA EXTERNA	1		2		5				8		8	
EMERGENCIA	2		4		6				12		12	
QUIROFANO	3	1	3		5		5	4	16	5	21	1
ESTERILIZACION	1				9				10		10	
TERAPIA INTENSIVA	11		3		2				16		16	2
MEDICINA	9		1		9	1			19	1	20	1
GINECO-OBSTETRICIA	1	5		1	2	2			3	8	11	
CIRUOIA	6	2	2		12				20	2	22	1
PEDIATRIA	6	1	4	2	11	1			21	4	25	1
TOTAL	44	8	19	3	61	4	5	3	129	18	147	6
TOTAL	52		22		65		8					

FUENTE: Elaboración propia

/csd

HOSPITAL JAPONES
DPTO. DE ENFERMERIA

ACTIVIDADES EDUCATIVAS SEGUH GESTION Y SERVICIOS

GESTION 1936 - GESTION 1991

SERVICIO	1936		1937		1938		1939		1990		1991		ELABORACION GUIAS DE TRABAJO		
	ED. CONT.	SEM. TALL.	ED. CONT.	SEM. TALL.	ED. CONT.	SEM. TALL.	ED. CONT.	SEM. TALL.	ED. CONT.	SEM. TALL.	ED. CONT.	SEM. TALL.			
CUS. EXT.		5 (sim.)		1 148		138		2	156		20	3	250	1 (24 tem.)	
BERGENCIA		5 (sim.)		1 12		12		2	34		24	3	12	1 (24 tem.)	
CURSOAND		3 (sim.)		1 36		36		2	20		36	3	-	1 (24 tem.)	
U.T.I.		1		2 15		15		2	4		60	3	-	1 (24 tem.)	Jornada de Medicina Critica y Ter. Int. 1991
PEDIATRIA		2		2 48		48		2	41		12	4	30	1 (24 tem.)	
CURCUGIA		2		2 48		48		2	4		8	3	10	1 (24 tem.)	Elaboración de protocolo de atención 1991
G. OEST.		-		-		-		-	6		48	2	96	1 (24 tem.)	Elaboración de manuales de atención y de atención para la ges.
MEDICINA		2		2 48		48		2	2		10	3	12	1 (24 tem.)	Elaboración de protocolo de atención.
TOTAL		20		2 148		186		14	53		218	25	410	8	

ACTIVIDAD EDUCATIVAS ORGANIZADAS POR JEFATURA DE ENFERMERIA Y

SUPERVISION

GESTION 1985 a 1991.

ACTIVIDADES	GESTION						
	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991
1. Elaboración y/o adecuación de manuales de procedimientos, normas y reglamentos 1985-1986.	1	1					
2. Curso de Supervisión de Enfermería modularizado. Presentado a las Enfermeras de la Institución.				1	1		
3. Elaboración y publicación del libro de Administración de Enfermería.					1		
4. Curso sobre administración en Enfermería a nivel Departamental.					1		
5. Curso de Administración a nivel Nacional (Cochabamba, Enero.)						1	1
6. Simposio Internacional							1

DISTRIBUCION DEL PERSONAL DE ENFERMERIA POR SERVICIOS

SEGUN NIVEL DE FORMACION Y FORMA DE CONTRATACION

GESTION 1991

SERVICIOS	LICENCIADAS		ENFERMERAS		AUXILIARES		TECNICAS		TOTAL		TOTAL GENERAL	ENFER VOLUNT
	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR	ITEM	CONTR		
SUPERVISION	4								4		4	
CONSULTA EXTERNA	1		2		5				8		8	
EMERGENCIA	2		4		6				12		12	
QUIROFANO	3	1	3		5		5	4	16	5	21	1
ESTERILIZACION	1				9				10		10	
TERAPIA INTENSIVA	11		3		2				16		16	2
MEDICINA	9		1		9				19	1	20	1
GINECO-OBSTETRICIA	1				2				3	8	11	
CIRUGIA	6	2	2		12				20	2	22	1
PEDIATRIA	6	1	4		11				21	4	25	1
TOTAL	44	8	19	3	61	4	5	3	129	18	147	6
TOTAL	52	22	65	8	147							

FUENTE; Elaboración propia

/csd

DISTRIBUCION DEL PERSONAL DE ENFERMERIA SEGUN SERVICIOS Y GESTION:

SERVICIOS	1986				1987				1988 - MAYO relocaliz.				1989				1990				1991				1992					
	CONTR.		ENF.		AUX.		RELO.		ENF.		AUX.		CONTR.		RET.		CONTR.		TRANSFERIDA		ENF.		AUX.		CONTR.		ENF.		AUX.	
	ENF.	AUX.	ENF.	AUX.	ENF.	AUX.	RELO.	ENF.	AUX.	CONTR.	TRANS.	ENF.	AUX.	CONTR.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	REN.	
Consulta Externa	8	17	2	5	6	6	6	6	3	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5	-	-	-	-	-	-	-	
Emergencia	7	9	6	8	1	1	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	
Terapia Intensiva	13	7	14	4	1	1	2	-	14	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	2	-	-	-	-	-	-	-	
Quirófano y Recuperación	8	14	6	10	2	4	-	-	6	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	13	-	-	-	-	-	-	-	
Esterilización	2	7	2	8	-	-	-	-	1	9	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	
Pediatría	16	13	9	11	5	2	-	-	10	12	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	13	12	-	-	-	-	-	-	-	
Cirugía	14	11	9	11	5	-	-	-	8	12	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	10	12	-	-	-	-	-	-	-	
Medicina	14	9	9	7	3	2	2	2	10	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10	10	-	-	-	-	-	-	-	
Gineco - Obstetricia	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	-	-	-	-	-	-	-	
Supervisoras	4	4	4	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
Jefe de División de Educ.	1	1	1	-	-	1*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
Jefe Dpto. de Enfermería	1(85)	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
TOTAL	88	87	53	64	16	17	17	17	33	66	2	4	5	71	76	19	-	-	-	-	74	74	3	-	-	16	73	-	-	-

* En calidad de préstamo
temporal.

Referencia: REN = Renuncia RET. = Retorno de la relocalización. TRANS. = Transferidas.

CHARLAS DE EDUCACION SANITARIA PARA PACIENTES HOSPITALIZADOS
Y DE CONSULTA EXTERNA

<u>AÑO</u>	<u>TEMAS</u>	<u>TIEMPO</u>	<u>ASISTENTES</u>	<u>SERVICIOS</u>
1989. Agosto	Promoción de la Salud y prevención de las enfermedades	1 mes (16 temas)	485	Pediatría Hospitalización
Febrero Diciembre	Promoción de la Salud y prevención de las enfermedades	11 meses (44 charlas)	1.200	Consulta Externa
1990 Enero a Diciembre	Promoción de la Salud y prevención de las enfermedades	7 meses (22 temas) (132 charlas)	2.640	Consulta externa
Febrero a Diciembre	Promoción de la salud y prevención de las enfermedades.	6 meses (24 temas) (41 charlas)	472	Pediatría Hospitalización
Noviembre a Diciembre	Promoción y prevención de enfermedades para pacientes gineco*Obstetricas	2 meses (6 temas)	60	Gineco-Obstetricia Hosp.
1991 Enero a Diciembre	Promoción de la Salud prevención y re-habilitación de las enfermedades.	1 año (6 temas)	62	Medicina Hospitaliza
Enero a Diciembre	Promoción de la Salud prevención y re-habilitación de enfermedades.	1 año (18 temas) (31 charlas)	372	Cirugía Hospitalización
Enero a Diciembre	Promoción de la Salud prevención y re-habilitación de las enfermedades.	1 año (10 temas) (120 charlas)	180	Gineco-Obstetricia Hosp.
Enero a Mayo	Promoción de la Salud prevención de las enfermedades	5 meses (10 temas) (57 charlas)	1.100	Consulta Externa

Abril a Mayo	Proyección de video sobre promoción de la Salud y prevención de las enfermedades.	2 meses Todos los días (11 temas)	1.700	Consulta Externa
Marzo a Mayo	Promoción de la Salud prevención y rehabilitación de las enfermedades.	3 meses (3 temas)	60	Pediatría Hoapit.
1992				
Enero a Febrero	Promoción de la Salud y prevención y rehabilitación de las enfermedades.	2 meses (2 temas)	30	Cirugía Hospitalización
Enero a Mayo	Promoción de la Salud y prevención de las enfermedades.	5 meses (18 temas)	216	Gineco-Obstetricia Hospitalización y Con. Ext.
Enero a Mayo	Promoción de la Salud prevención y rehabilitación de las enfermedades.	5 meses (5 temas.	60	Medicina Hospitalización
	Educación Sanitaria Orientando a la niñez del distrito II no fue efecutado por estar en revisión por la comisiún de proyección a la comunidad.			

CURSOS DE ACTUALIZACION CONTINUA PARA EL PERSONAL DE ENFERMERIA

AÑO	TEMAS	TIEMPO	N-DE ASISTENTES	SERVICIOS
<u>1986</u>	-Curso sobre organización de - ICV/CCU.	48 horas (13 temas)	25	ICU/CCU.
	-Simulacro sobre atención a pa- cientes de consulta Externa	3 horas	20	Consulta Externa
	-Simulacro sobre atención a pa- cientes de emergencia	10 horas	15	Emergencia
	-Simulacro sobre atención a pa- cientes en hospitalización.	10 horas	30	Hospitalización Medicina, Cirugía y Pediatría.
Marzo a Mayo <u>1987</u>	-Implementación del manual del organización y funciones	3 meses (Todos los días)	12	Diferentes servi- cios.
	- Manejo del electrocardiografo	2 horas (1 tema)	25	Diferentes servi- cios.
	-Revisión e implementación de - procedimientos.	3 meses	12	Diferentes servi- cios.
<u>1988</u>	-Curso de educación en servicio.			
	1) Atención de Enfermería a pa- cientes pediátricos.	4 días (4 temas)	20	Pediatría.
<u>1988</u> marzo	2) Atención de Enfermería a pa- cientes de Medicina	4 días (4 temas) (16 charlas)	20	Medicina Hospit.
	3) Atención de Enfermería a pa- cientes de Cirugía	4 días (4 temas) (16 charlas)	20	Cirugía hospital.
	4) Atención de Enfermería a pa- cientes de Emergencia.	4 días (4 temas) (16 charlas)	12	Emergencia Hospi.
Abril	5) Atención de Enfermería a pa- cientes quirúrgicos.	7 días (4 temas) (16 charlas)	15	Quirófano y Este- rilización.

MAYO	Didáctica en enfermería	1 mes (3 temas)	90	Para los diferentes servicios.
JUNIO				
AGOSTO	Charlas de actualización	4 meses	120	Para los diferentes servicios.
DICIEM.	continua por servicios			
	Curso sobre educación continua.	15 días (13 temas)	125	Para los diferentes servicios.
	Curso de Supervisión	1 mes	12	Para los diferentes servicios.
<u>1989</u>	Comunicación básica	20 días	118	Para los diferentes servicios.
Mayo.				
Marzo - Agosto.	Técnicas de registro	6 mes	120	Para los diferentes servicios.
	Administración general seminario taller a nivel departamental.	5 día	50	Para Enfermeras en Santa Cruz.
JUNIO- OCTUBRE	Supervisión de enfermería	5 meses (2 veces a la semana).	4	Supervisión.
<u>1990</u>				
Enero	Administración general (seminario taller a nivel nacional	4 días	60	Enfermeras de la ciudad de Cbba.
Enero -	Atención de Enfermería a pacientes de Medicina (19 temas)	6 meses (19 temas)	18	Medicina Hospit.
JULIO	Atención de Enfermería a pacientes de Cirugía (11 temas)	6 meses (11 temas)	20	Cirugía hospital
	Atención de Enfermería a pacientes de emergencia (19 temas)	6 meses (19 temas)	10	Emergencia
	Atención de Enfermería a pacientes quirúrgicos	4 meses (12 temas)	15	Quirófano - Esterilización.

	Atención de enfermería a pacientes pediátricos	6 meses (9 temas 21 charlas)/	18	Pediatría Hospitaliz.
	Atención de enfermería a pacientes de ICU.	5 meses (6 temas)	14	ICU.
<u>1990</u>				
Febrero a Marzo	Prevención de infecciones intrahospitalarias (seminario taller)	2 meses (10 temas)	70	Para los diferentes
Marzo a Abril	Curso de entrenamiento para el personal de Gineco-Obstetricia.	1 mes (9 temas)	12	Gineco-Obstetricia
Abril	Curso de entrenamiento para el personal de pediatría.	1 mes (9 temas)	20	Pediatría Hospitaliz.
Abril a Agosto.	Elaboración y revisión de manuales de organización y procedimientos del servicio de Gineco-Obstetricia.	5 meses	6	Gineco-Obstetricia
Septiembre a Diciembre	Elaboración de Manual de Procedimientos de atención de enfermería a pacientes con enfermedad renal.	4 meses 3 veces por semana.	4	ICU.
Enero a Diciembre	Elaboración del manual de Quirófano.	1 año 1 hora todos los días.	26	Quirófano y central de esterilización.
Agosto	Atención de enfermería a pacientes pediátricos.	4 días (4 temas)	20	Pediatría hospitaliz.
Julio	Atención de enfermería a pacientes de Medicina.	12 días (7 temas)	18	Medicina Hospitaliz.
Noviembre y Diciembre		(12 charlas)		

<u>1990.</u>	Atención de enfermería a pacientes de	5 meses	6	Emergencia
Agosto	Emergencia	(14 temas)		
Septiembre a Diciembre	Atención de Enfermería a pacientes de ICU	4 meses (4 temas)	14	ICU
Septiembre a Diciembre	Atención de enfermería a pacientes de Cirugía	4 meses (15 temas)	20	Cirugía Hospitalizac.
Noviembre	Atención de enfermería a pacientes de Gineco - Obstetrica	1 mes (4 temas)	8	Gineco-Obstetricia Hospitalización.
Julio a Diciembre	Atención de enfermería a pacientes de Consulta Externa	6 meses (12 temas)	6	Consulta Externa
Agosto	Atención de Enfermería a pacientes qui- rúrgicos.	1 mes (7 temas)	18	Quirófano y central de esterilización.
<u>1991.</u>				
Enero a Marzo	Atención de Enfermería a pacientes de Emergencia y UTI (Seminario taller)	10 días (38 temas)	20	ICU - Emergencia
Mayo a Junio	Atención de enfermería a pacientes de Pediatría . - (Seminario taller)	12 días (30 temas)	22	Pediatría Hospitaliz.
Julio a Septiembre	Atención de Enfermería a pacientes de Quirófano y cirugía (Seminario Taller)	13 días (26 temas)	25	Quirófano y Cirugía Hospitalización.
Octubre a Diciembre	Atención de enfermería a pacientes de Consulta Externa y Medicina (Seminario Taller)	12 días (12 temas)	23	Consulta Externa y Medicina Hospitaliz.
Agosto	Símpoio Internacional sobre "Adminis- tración de Enfermería"	4 días	164	A nivel Dptal. Santa Cruz.
Abril a Diciembre	Atención de enfermería a pacientes de Emergencia	5 Horas (10 temas)	10	Emergencia

Febrero a Septiembre	Atención de enfermería a pacientes de Consulta Externa	5 horas (10 temas)	8	Consulta Externa
<u>1991.</u>				
Enero a Junio	Atención de enfermería a pacientes de Medicina	4 horas (7 temas)	70	Medicina hospitaliz.
Enero a Junio	Atención de enfermería a pacientes quirúrgicos.	5 horas (9 temas)	20	Quirófano y central de Esterilización.
Febrero a Marzo y Julio a Dic.	Atención de enfermería a pacientes de Gineco-Obstetricia	16 horas (32 temas)	8	Gineco-Obstetricia Hospitalización.
<u>1992</u>				
Enero	Avances Administrativos en enfermería	5 días	13	Para todos los servicios.
Mayo	Jornadas Médico Quirúrgicas - Atención de enfermería a pacientes de Médico Quirúrgico.	3 días (12 temas)	50	En la ciudad de Montero.
Abril	Supervisión de Enfermería.	1 día	20	En la ciudad de Montero
<u>1992</u>				
Enero a Marzo	Atención de enfermería a pacientes de emergencia.	2 horas (3 temas)	6	Emergencia
Mayo	Atención de enfermería a pacientes de la Unidad del Cólera.	4 temas Todos los días (372 charlas)	6	Unidad del Cólera
Febrero a Abril	Atención de enfermería a pacientes de ICU.	4 horas (8 temas)	8	ICU
Enero a Febrero.	Atención de enfermería a pacientes de Pediatría	1 hora	18	Pediatría Hospitaliz.

Marzo a Abril	Atención de enfermería a pacientes de Cirugía	1 hora (2 temas)	15	Cirugía Hospitaliz.
Enero a Abril	Atención de enfermería a pacientes de Gineco-Obstetricia	2 horas (4 temas)	8	Gineco-Obstetricia Hospitalización.
Enero a Abril.	Atención de Enfermería a pacientes de Medicina	2 horas (4 temas)	18	Medicina Hospitaliz.
Febrero a Marzo.	Atención de Enfermería a pacientes de Consulta Externa	3 horas (5 temas)	7	Consulta Externa.
Santa Cruz 17				de Junio, 1992.

I - 3 救急外来部報告

HOSPITAL
JAPONES
SERVICIO
DE
EMERGENCIA
INFORME
ANUAL
1991

Dr. Marcos Garafalic
Jefe de Servicio

SERVICIO DE EMERGENCIA
HOSPITAL JAPONES

INFORME ANUAL 1991

ACTIVIDADES.- De Enero a Diciembre del año 1991 se han realizado un total de 19991 consultas con la siguiente distribucion;

MEDICINA	6844	34.24 %
CIRUGIA	5211	26.07 %
PEDIATRIA	6747	32.35 %
GINECO-OBS	1449	7.35 %

PROMEDIO CONSULTAS MES	1666
PROMEDIO CONSULTAS DIA	54.77

RENDIMIENTO 57.05 %

Para la apertura del Hospital Japonés en 1986 dentro de los diversos estudios en cuanto a capacidad se refiere, los expertos de la OPS \ UNIDAD SANITARIA fijaron como meta de atención en el Servicio de Emergencia de 40 pacientes día. A fines del año 1991 en el Plan de Trabajo presentado a Jefatura Médica y después de un análisis del rendimiento económico del Servicio de Emergencia y los recursos humanos se estableció una nueva meta de pacientes atendidos en 96/día. lo que equivaldría a un rendimiento del 57.05 de la nueva meta fijada.

De otra parte es importante hacer notar que el promedio de pacientes atendidos por día se incremento de 45.4 en 1990 a 54.77 /día en 1991 (27,2 %).

El número total de pacientes atendidos presenta un incremento de el 20.6 % con relación a 1990 que equivalen a 3422 pacientes en parte esto es atribuible al incremento de consultas gineco-obstetricas (1469) en el Servicio, siendo las 1953 consultas restantes adjudicadas a las otras 3 especialidades .

ESPECIALIDAD	1990	1991
Medicina	6070	6844
Cirugia	4793	5211
Pediatria	5415	6467
Gin-Obse	236	1469

MES DE MAYOR DEMANDA.- Los meses con mayor demanda fueron Febrero y Marzo epoca en la cual se realizo un paro de actividades en la consulta externa desde el 6/2/91 al 11/3/91.

MES CON MENOR DEMANDA.- Correspondo al mes de Junio con 1377 consultas.

HOSPITALIZACIONES .- Por el Servicio de Emergencia se hospitalizaron 3909 pacientes de un total de 19991 consultas, lo que equivale al 19.55 %, cifra que contrasta con las internaciones producidas en la Consulta Externa con relacion a su volumen de consultas y que equivale al 3%.

PROCEDIMIENTOS.- Durante el año 1991 se realizaron 24109 procedimientos llevados a cabo por el personal medico y/o de enfermeria ,reflejando un incremento del 9.8 % con relacion al año 1990.

CIRUGIAS DE EMERGENCIA.- De un total de 3404 cirugias se practicaron 938 cirugias de emergencia equivalente a un 39 % contra el 29.4 de 1990.

EXAMENES DE LABORATORIO.- Durante el año 1991 se solicitaron 15484 exámenes laboratoriales de un total de 96877 ,significando un incremento del 36.2 % con relacion al año anterior.

EXAMENES RADIOLOGICOS.- De un total de 20218 estudios por el S. de Emergencia se solicitaron 4933 placas radiograficas, equivalentes al 24.3 % y que con relacion a 1990 significa un incremento del 7%.

RECURSOS HUMANOS.-

MEDICOS	Internista	1
	Cirujano	1
	Pediatra	1
	Anestesiologo	1
	Ginecologo	1

RESIDENTES	Cirurgia	3
	Medicina	1
	Pediatria	1
	Ginecologia	1

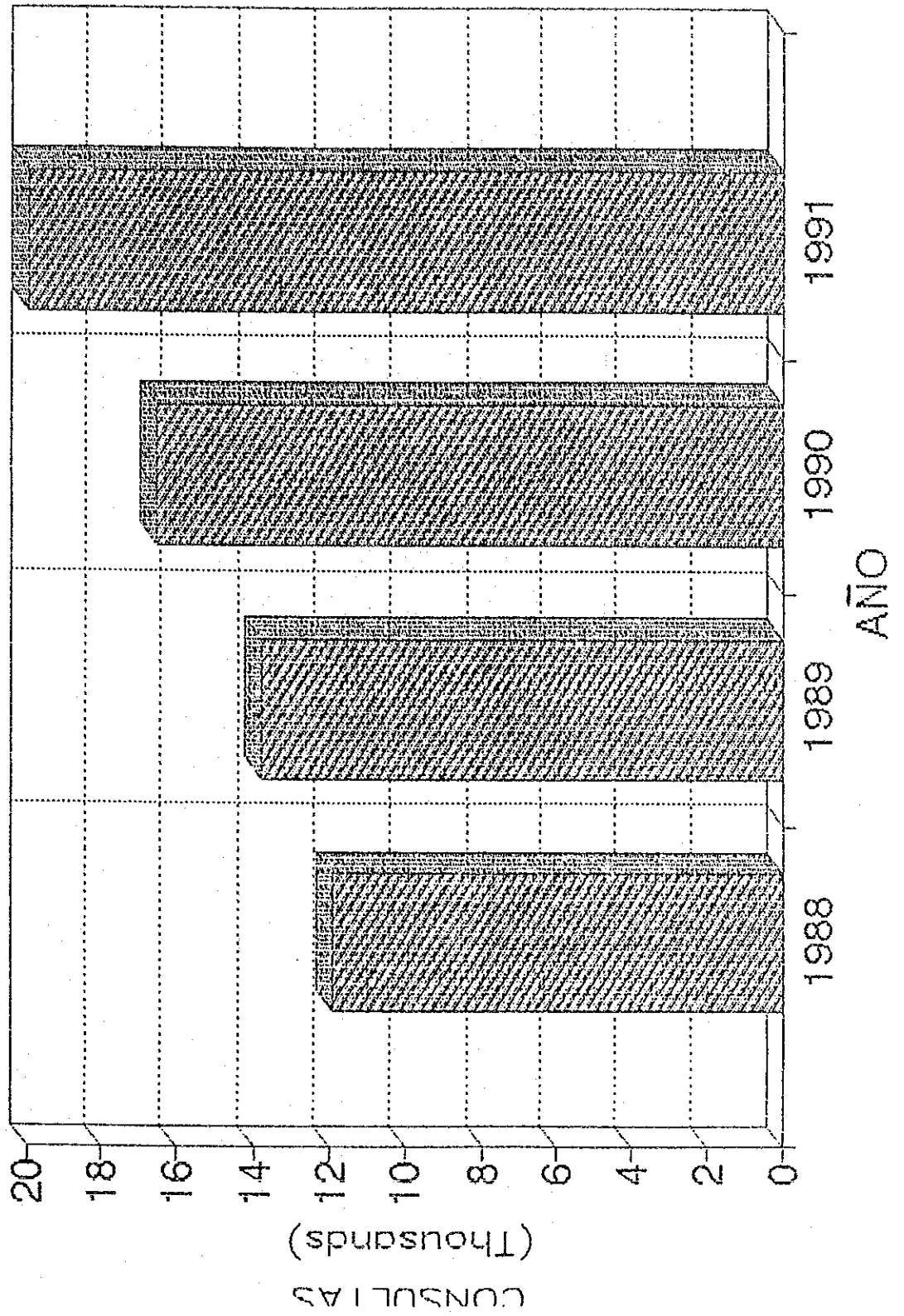
ENFERMERIA:	Graduadas	4
	Auxiliares	6

EQUIPO - INSTRUMENTAL.- El Servicio de Emergencia cuenta además de los equipos de curación , sutura etc usados en la sala de curaciones , con una Sala de Reanimación con:

- Equipo de traqueotomía.
- Equipo de flebotomía.
- Equipo de punción subclavia.
- Equipo de lavado peritoneal.
- Equipo de toracotomía mínima.
- Desfibrilador.
- Vaporizador de anestesia.
- Respirador.
- Carro de paro.
- Rectosigmoidoscopio.
- Collares cervicales.
- Tablas de extricación y transporte.

SERV. EMERGENCIA-H. JAPONES

CUADRO COMPARATIVO.



SERVICIO DE EMERGENCIA - INFORME ANUAL 1971

	ENERO	FEBRERO	MARZO	ABRIL	MAYO	JUNIO	JULIO	AGOSTO	SEPT	OCTUBRE	NOV	DIC	TOTAL	%	1970	1972
CON CONSULTA	51	75	55	471	565	447	473	525	546	640	583	522	6644	34.24	5070	5224
CON SUBSIDIO	46	40	437	428	402	379	404	457	417	474	484	573	5211	26.97	4753	4921
CON FARMACIA	33	54	677	507	575	456	409	371	451	641	590	542	5467	28.35	5415	4517
CON SUBSIDIO	5	133	115	181	154	123	133	121	123	142	106	119	1469	7.35	236	6
TOTAL	135	1954	1928	1507	1695	1377	1364	1454	1547	1857	1745	1756	19771	100.00	16514	13721
CON CONSULTA	56.57	65.47	64.27	50.23	55.56	45.50	45.13	49.47	51.57	63.23	58.10	58.53	51.77		45.4	57.3
CON FARMACIA	532	545	2664	5953	3103	5323	5947	5020	4817	3045	3038	2769	48857		57152	50743
CON SUBSIDIO	341	307	310	347	376	310	325	315	341	355	290	303	3709		3342	277
CON CONSULTA	53	62	111	160	97	145	152	142	124	160	98	134	1453		1470	277
CON FARMACIA	1234	1767	1847	1740	1944	1936	2322	2067	2152	2350	2278	2240	24109		21592	19225
CON SUBSIDIO	121	63	185	76	124	110	147	123	115	133	161	146	1560		1468	277
CON CONSULTA	5	64	89	101	93	64	72	73	76	73	52	78	938		503	599
CON FARMACIA	127	23	65	107	93	100	161	149	152	143	130	130	1458		1442	1137
CON SUBSIDIO	21	93	174	235	286	204	233	222	223	216	192	208	2404		2045	1733
CON CONSULTA	141	1463	1555	1123	1217	1425	1230	953	1292	1265	1474	1223	15984		13563	1473
CON FARMACIA	121	623	7466	3280	6741	5159	5645	6339	5335	9249	9263	6374	94977		83301	73315
CON SUBSIDIO	271	456	485	340	367	383	330	413	468	529	356	410	4933		4807	3755
TOTAL	1351	1112	1475	1873	1305	1474	2059	1847	1727	2049	1663	1658	20218		23567	17224

SERVICIO DE EMERGENCIA
HOSPITAL JAPONES
RESUMEN ANUARIO 1991

INTRODUCCION

El Servicio de Emergencia es la seccion de los servicios medicos, encargada de la atencion (prestacion de servicios inmediatos de diagnostico y tratamiento) a pacientes que presentan cuadros clinicos o quirurgicos o que se encuentren en situacion de riesgo con peligro de muerte o incapacidad.

Esta integrado por personal medico en las diferentes especialidades (Cirugia, Medicina Interna, Pediatria Gineco- Obstetricia y sub especialidades medico quirurgicas) por personal paramedico tecnico y auxiliares de apoyo.

Presta atenciones especializadas a los pacientes que lo requieran, realizandose intervenciones quirurgicas u otras practicas medicas segun requerimiento; ademas presta atencion a pacientes internados que por su gravedad requieran atencion de emergencia.

OBJETIVOS

Fundamentalmente son; Prestar servicios inmediatos de diagnostico y tratamiento para pacientes que se encuentran en situacion de riesgo grave, peligro de muerte o incapacidad con el fin de brindarles una atencion rapida y eficiente dirigida a controlar o eliminar el riesgo , impedir la muerte , evitar, disminuir o limitar la incapacidad .

Igualmente , prestar servicio inmediato de diagnostico y tratamiento para pacientes que no estando en peligro inminente de muerte asi lo requieran por el cuadro agudo clinico o quirurgico .

UBICACION

El Servicio de Emergencia se encuentra ubicado en el ala este del edificio hospitalario teniendo acceso directo por la Av. Japon (3er anillo externo) y desde la Av.Paragua o el Canal Cotoca.

IMPORTANCIA

Directamente relacionada con sus objetivos tiene caracter multidisciplinario , presta atencion las 24 hs del dia y los 365 dias del año.

Desde su apertura se estructuro como un servicio de referencia para otros centros, y con especial dedicacion a aquellos pacientes graves, medicos o quirurgicos que requieren una atencion integral. Cumple ademas importante funcion docente entrenando a los medicos residentes en la atencion de emergencia proporcionandoles una gama amplia y variada tanto de casos clinicos como quirurgicos de las especialidades basicas y todas las sub-especialidades.

MOVIMIENTO OPERATIVO

En el año 1991 se atendieron un total de 19991 consultas con un promedio mensual de 1665 consultas y un promedio diario de 54.77 pacientes con la siguiente distribución :

PEDIATRIA	6467	32.35 %
MEDICINA	6844	34.24 %
CIRUGIA	5211	26.07 %
GIN-OBS	1469	7.35 %

El 19.5 % (3909 pacientes) se hospitalizaron en los diferentes servicios porcentaje alto con relacion a la consulta externa(3 % de internaciones).

Se realizaron 24109 procedimientos por el personal medico y o de enfermeria, dentro de los cuales se incluyen:inyectables ,curaciones,nebulizaciones, suturas, yesos etc.

De un total de 2404 cirugias realizadas , el 39. % (938)corresponden a cirugias de emergencia .

En cuanto a los exámenes complementarios se solicitaron:

LABORATORIO	15484
RADIOLOGIA	4933

Debido a la constante demanda de espacio para una mejor atención de los pacientes la ampliación planificada consistente en una sala de observación más amplia y la habilitación de tres consultorios fue concretada a mediados de 1991 pero cuya implementación tuvo que ser postergada debido a que dicho espacio físico fue destinado a la atención de pacientes con o sospechosos de padecer la enfermedad de cólera para los cuales se requiere un ambiente aislado.

COMENTARIO.- Si observamos el cuadro comparativo de los años 1989, 1990 y 1991 es evidente la mayor demanda por parte del público en general, que en parte se debe a que una mayor cantidad de personas a través de los años adquiere conocimiento de la existencia de la Institución y fundamentalmente a la credibilidad que se ha ido ganando gracias a una atención diferente en el medio.

En cuanto a la parte operativa podemos recalcar lo siguiente:

- 1) Los manuales de funciones y reglamentos no se cumplen a cabalidad.

2) Demoras en la atencion de pacientes que en parte se deben a la falta de espacio fisico, reducido personal de enfermeria , y en ocasiones la no permanencia del personal medico en el Servicio por no contar con un ambiente cercano al mismo.

3) Demora en la entrega de resultados de laboratorio probablemente por su mayor demanda.

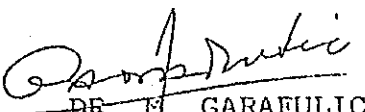
4) No se ha jerarquizado la funcion desempeñada por los Jefes de Turno cuya carga horaria esta excedida.

5) Falta de dotacion de uniformes a los camilleros y porteros .

6) La funcion docente asistencial de los medicos de planta debe intensificarse ejerciendo una mayor supervision sobre los Residentes.

7) La atencion de los pacientes graves es cada vez mas eficiente tanto por parte del personal medico como por el de enfermeria.

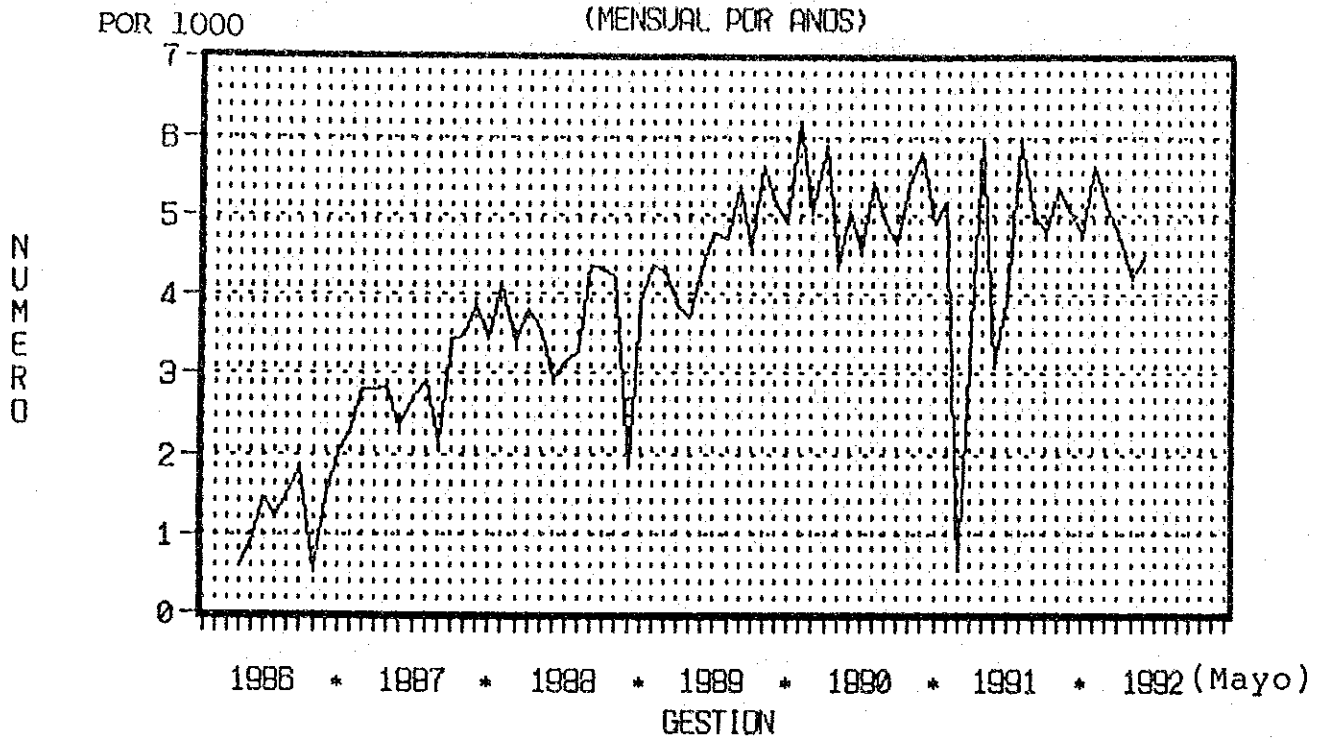
8) Se observa la casi total inoperancia del personal de porteros y serenos quienes con muy raras excepciones cumplen con su funcion especifica.


~~DR. F. GARAFULIC~~
JEFE DE SERVICIO EMERGENCIA
HOSPITAL JAPONES

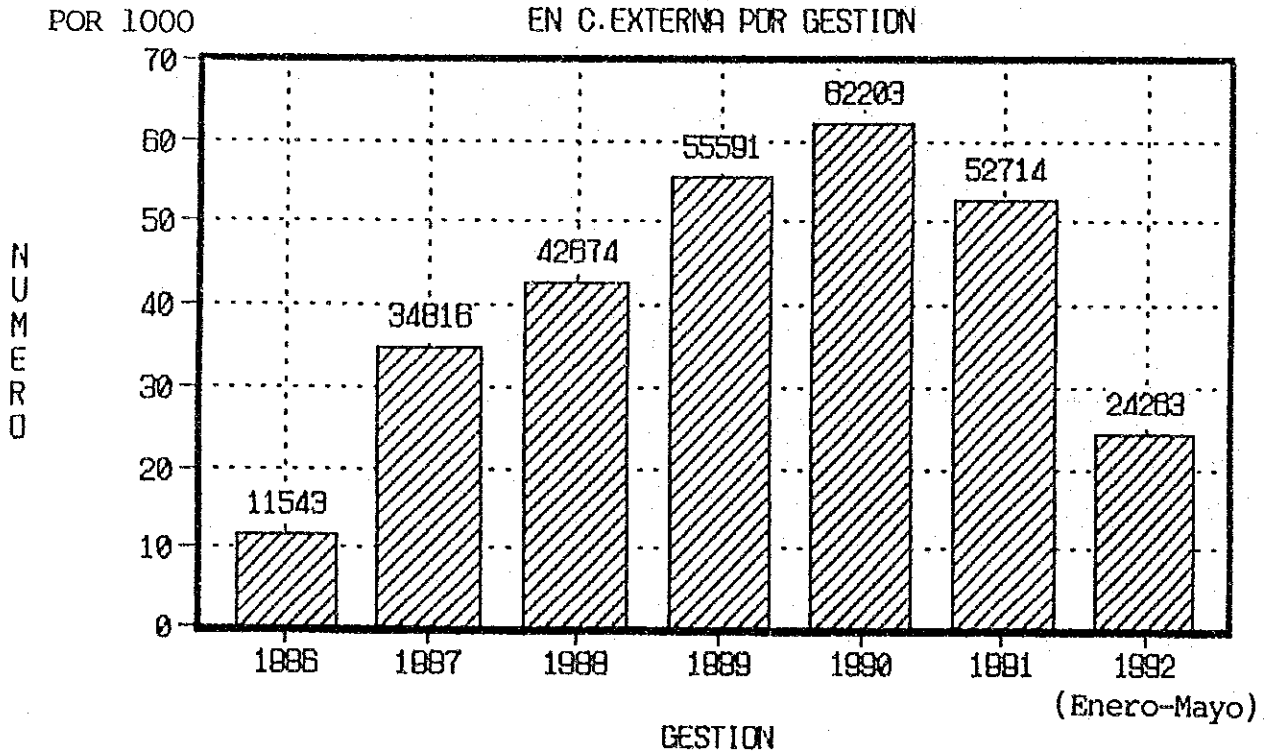
MAYO 1992

I - 4 患者統計

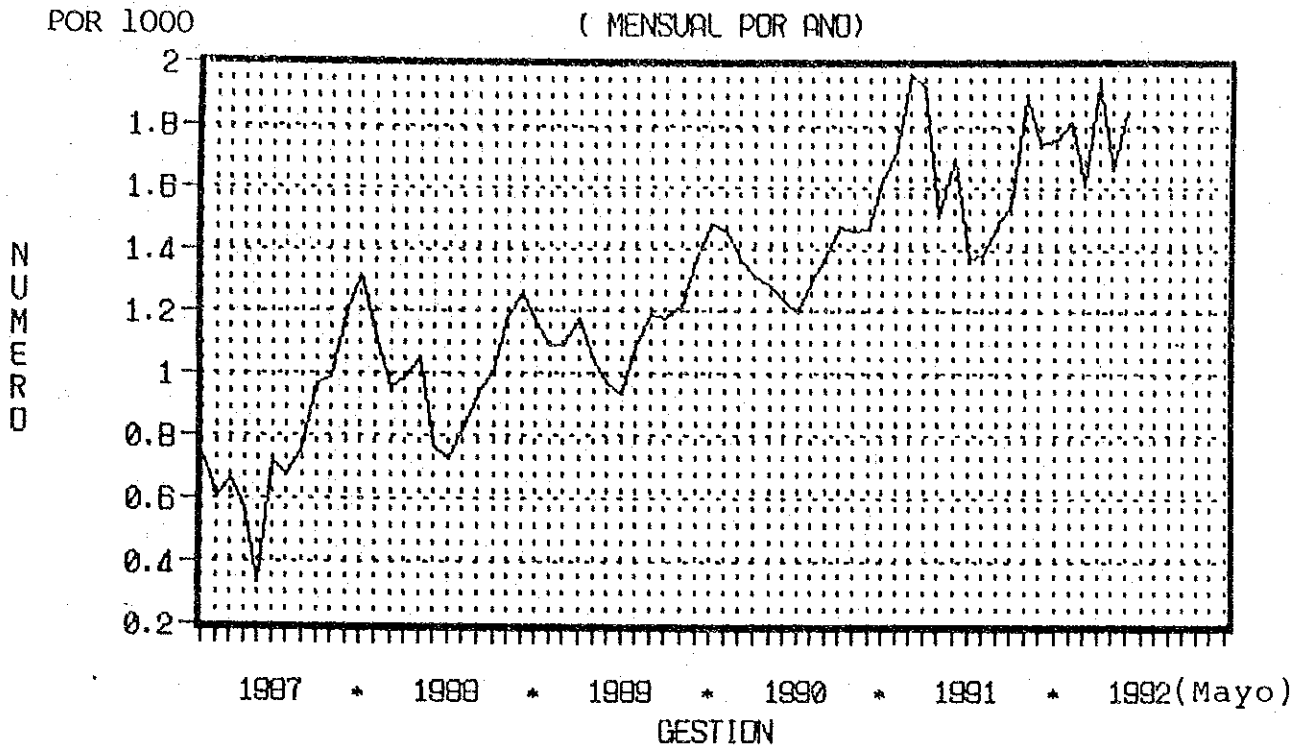
NUMERO DE PACIENTES POR C. EXTERNA
(MENSUAL POR AÑOS)



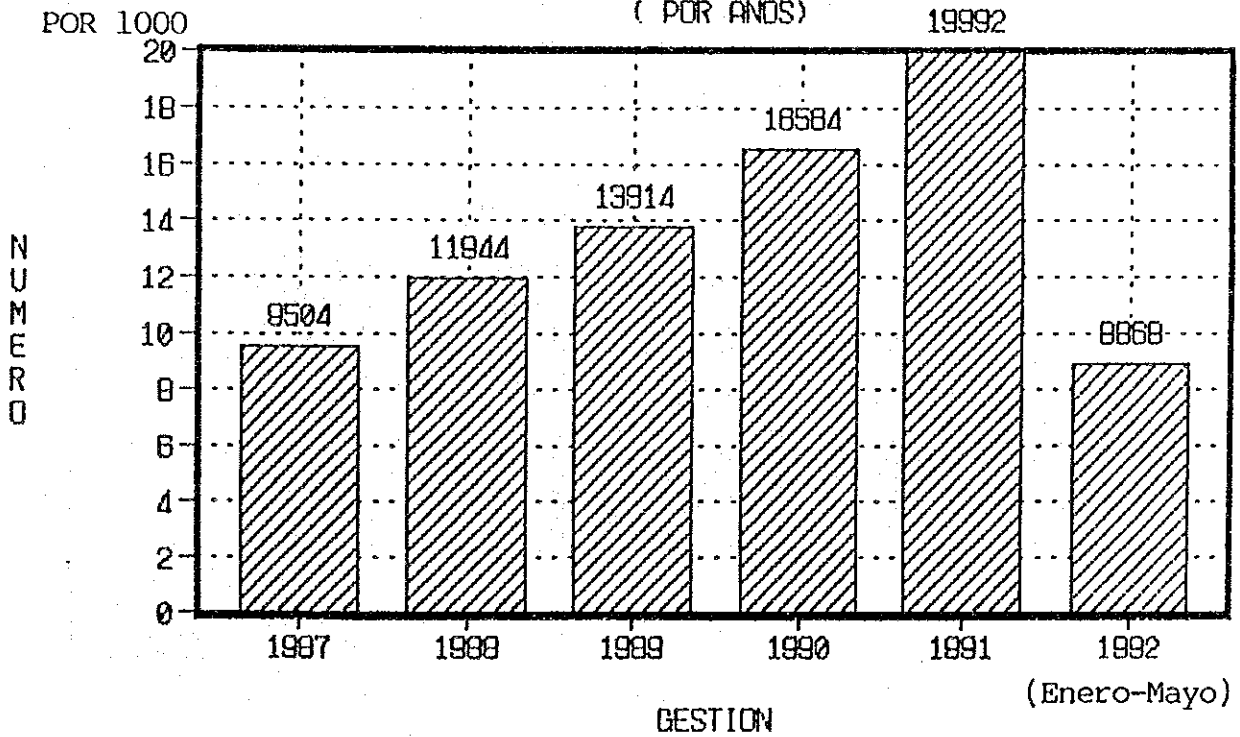
RESUMEN GRAL. PCTES. ATENDIDOS
EN C. EXTERNA POR GESTION



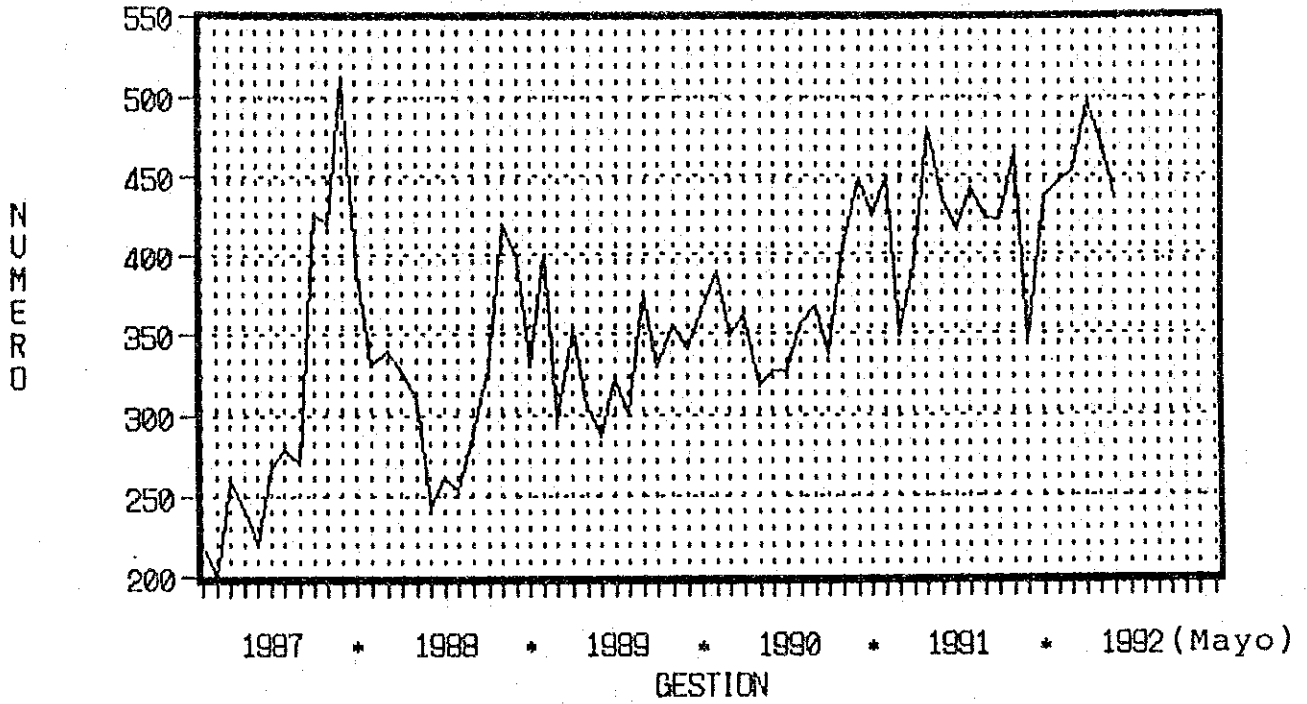
NUMERO DE PACIENTES EMERGENCIA
(MENSUAL POR AÑO)



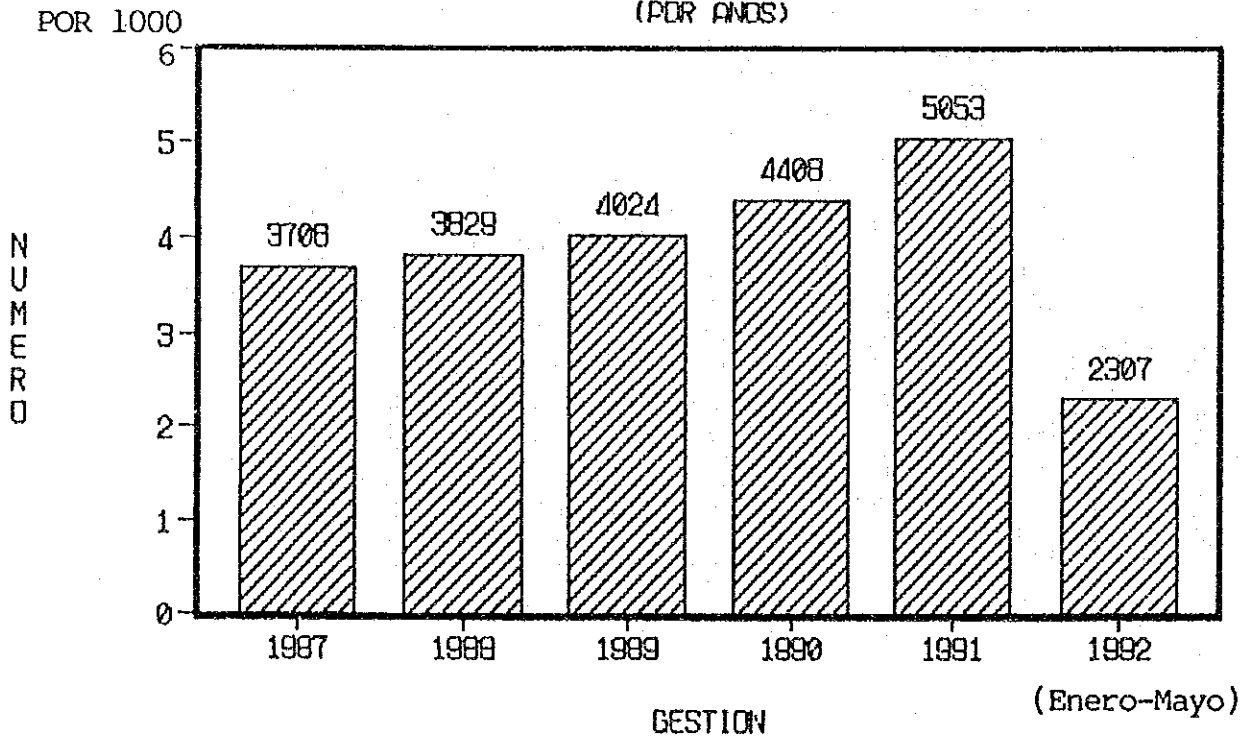
NUMERO DE PACIENTES EMERGENCIA
(POR AÑOS)



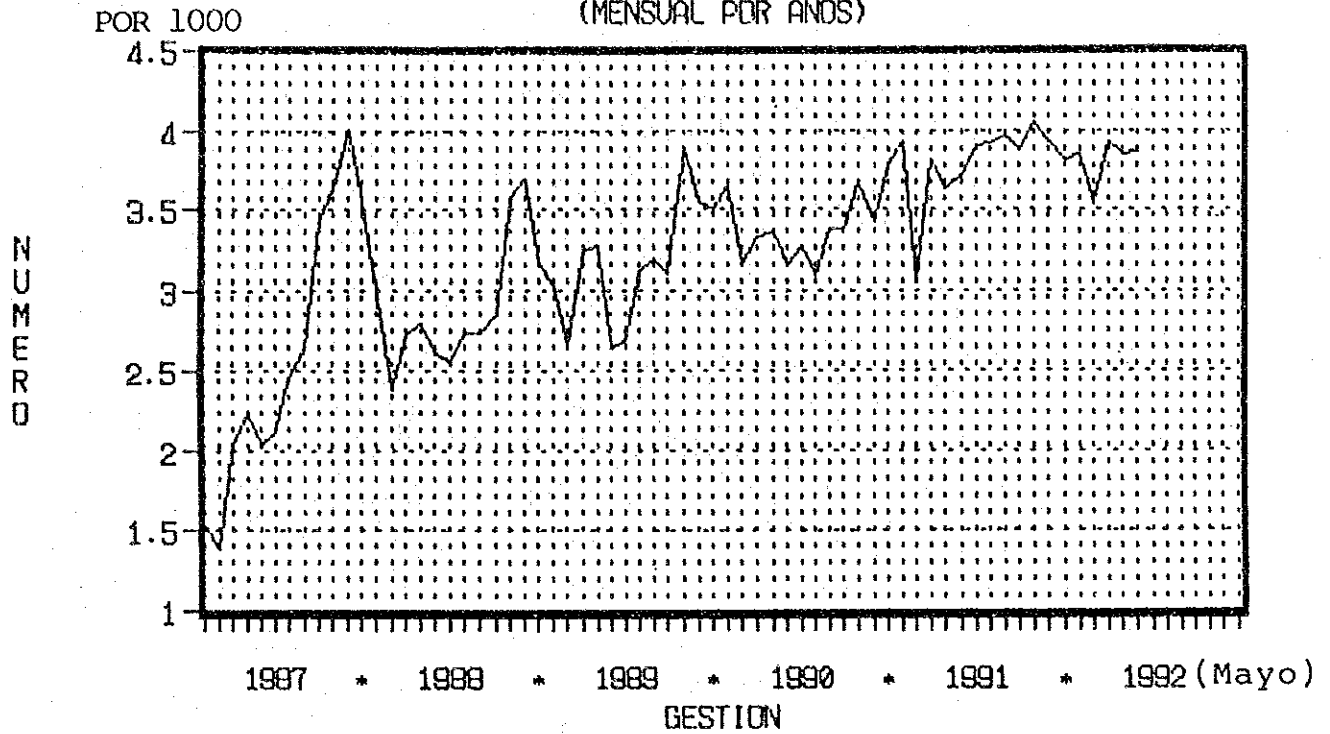
NUMERO DE NUEVO INTERNADOS PACIENTES
(MENSUAL POR AÑO)



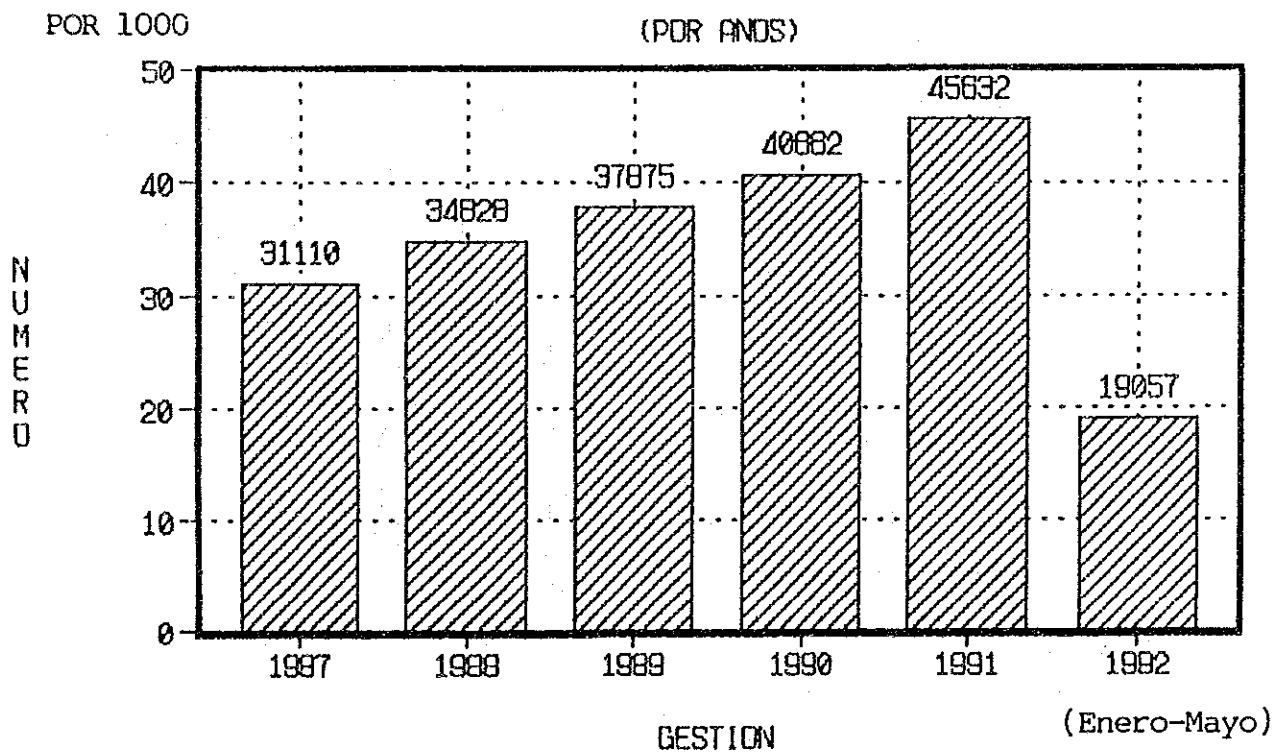
RESUMEN GRAL. PCTES. NUEVO INTERNADOS
(POR AÑOS)



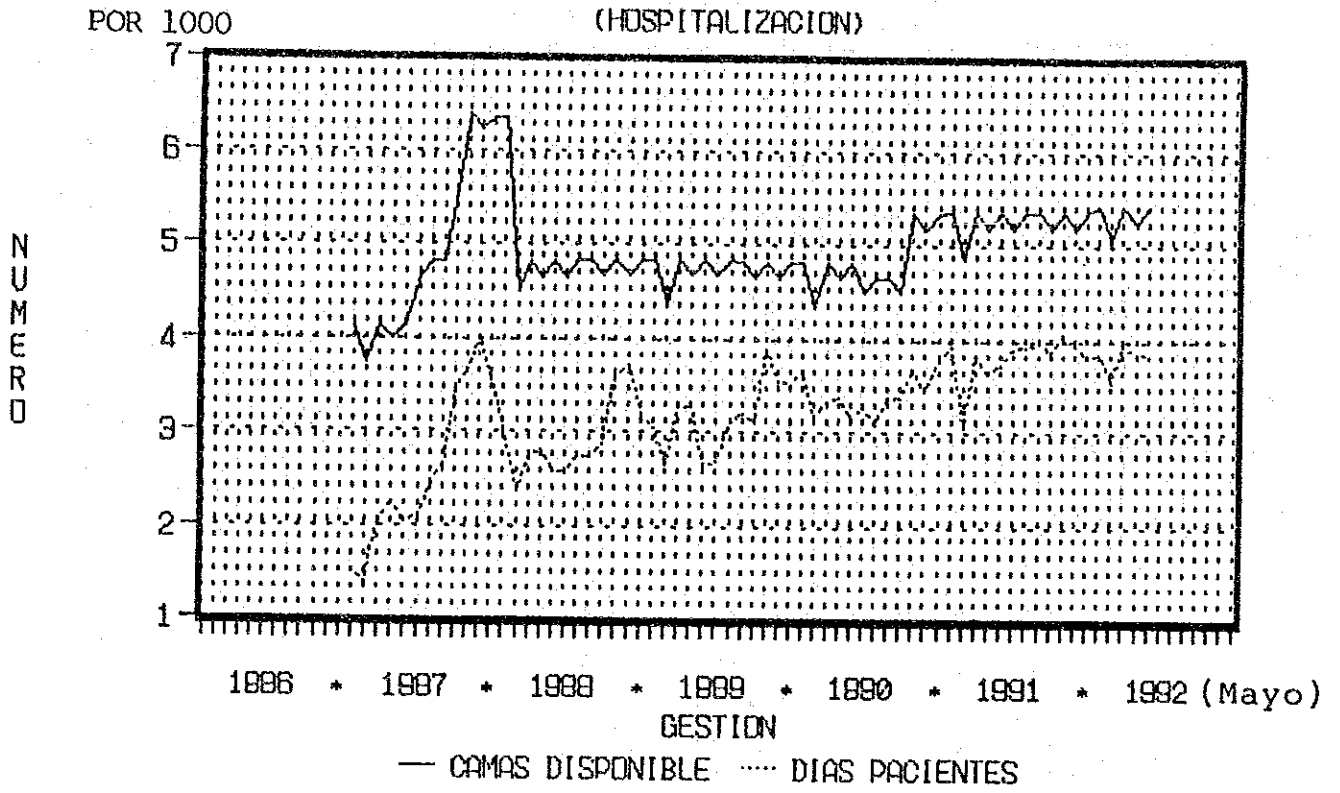
NUMERO DE PACIENTES HOSPITALIZADOS
(MENSUAL POR AÑOS)



NUMERO DE PACIENTES HOSPITALIZADOS
(POR AÑOS)



MOVIMIENTO NUMERO DE PACIENTES
(HOSPITALIZACION)



I - 4 患者統計

一般外来・救急外来診療科別統計表

CONSOLIDACION GENERAL DE PACIENTES ATENDIDOS EN LA CONSULTA POR ESPECIALIDADES
A. CONSULTA EXTERNA (AMB.)

DEP. C	ESPECIALIDAD	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	TOTAL
1.	1.MEDICINA 01 Medicina gen.	5712	6052	8106	8816	7710								36426
	1.MEDICINA 02 Cardiología	2006	2247	3347	4025	3270								14875
	1.MEDICINA 03 Gastroenterología	2371	1656	1842	2240	1982								10041
	1.MEDICINA 04 Neumología	1211	1111	1491	1530	1172								6515
	1.MEDICINA 05 Endocrinología	646	816	1038	1817	1578								5955
	1.MEDICINA 06 Psiquiatría	511	347	398	430	432								2109
	1.MEDICINA 07 Neurología	1180	943	1126	1153	1009								5102
	1.MEDICINA 08 Nefrología	411	303	408	333	276								1731
	1.MEDICINA 09 Dermatología	1537	1853	2735	3072	2738								11961
	1.MEDICINA 30 Neopatología	0	0	0	0	27								27
	SUB-TOTAL		15365	15334	20541	23436	20185	0	0	0	0	0	0	0
2.	2.CIRUGIA 11 Cirugía gen.	722	462	673	759	753								3375
	2.CIRUGIA 12 Otorrinolaringología	2620	3041	4120	5014	3894								18609
	2.CIRUGIA 13 Urología	575	741	1055	1233	1163								4827
	2.CIRUGIA 14 Traumatología	1541	1442	2124	2588	2132								9007
	2.CIRUGIA 15 Neuro-Cirugía	212	333	536	689	532								2353
	2.CIRUGIA 16 Cirugía-Vascular	183	151	275	384	359								1352
	2.CIRUGIA 25 Oftalmología	1281	1984	2531	3237	3287								13323
	2.CIRUGIA 28 Fisioterapia	0	0	0	0	166								166
	2.CIRUGIA 32 Cirugía Plástica	0	0	0	0	18								18
SUB-TOTAL		7137	8154	12320	13935	12364	0	0	0	0	0	0	0	53910
3.	3.PEDIATR 18 Pediatría gen.	7270	7157	9333	10006	8316								42082
	3.PEDIATR 19 Cirugía Infantil	0	75	506	1321	837								2733
	3.PEDIATR 20 Neurología Infantil	33	493	688	853	743								2826
	3.PEDIATR 21 Psiquiatría Infantil	203	263	414	326	231								1506
	3.PEDIATR 31 Urología Infantil	0	0	11	3	71								85
SUB-TOTAL		7586	7991	10352	12513	10267	0	0	0	0	0	0	0	47318
4.	4.GINE-OBG 23 Ginecología	313	423	672	727	5351								25098
5.	5.ODONTOL. 17 Odontología	3313	6898	5016	5041	4047								21315
	TOTAL		34520	42674	53531	67203	52714	0	0	0	0	0	0	247702
6.	6.OFROS													
	6.OFROS 40 Higiene	31	85	156	251	130								656
	6.OFROS 41 Fisioterapia	1169	1783	1917	3718	2799								11206
	6.OFROS 42 Fonaudiometría	0	0	0	696	676								1372
	6.OFROS 43 Foniología	0	0	0	0	0								0
	6.OFROS 44 Campimetría	0	0	0	0	0								0
6.OFROS 45 Medicina dental	0	0	0	0	0								0	
	TOTAL		1200	1868	2073	4668	3605	0	0	0	0	0	0	13414
7.	7.C.EMERGENCIA													
	1.MEDICINA 01 Medicina gen.	3908	4702	5351	6065	6861								26931
	2.CIRUGIA 11 Cirugía gen.	2490	3476	4030	4780	5180								20004
	3.PEDIATR. 18 Pediatría gen.	3116	3758	4317	5415	6136								23132
4.GINE-OBG 23 Ginecología	0	8	33	295	1455								1791	
	TOTAL		9504	11944	13814	16564	19932	0	0	0	0	0	0	71818

診療科別患者数

- 1 内科
- 2 外科
- 3 小児科
- 4 産婦人科
- 5 歯科
- 6 その他の診療
理学療法、作業療法、理学療法士等
- 7 救急外来

CONSUL92 RESUMEN GENERAL DE PACIENTES ATENDIDOS EN LA CONSULTA POR ESPECIALIDADES
A. CONSULTA EXTERNA

AÑO

DEP_C	ESPECIALIDAD	Mes												PROMED.		
		ENERO		FEBRERO		MARZO		ABRIL		MAYO		TOTAL		TOTAL	%	
		Prim.	Viej.	Prim.	Viej.	Prim.	Viej.	Prim.	Viej.	Prim.	Viej.	Prim.	Viej.			
1.MEDICINA 01	Medicina gral.	317	514	312	469	224	448	193	401	200	398	1246	2230	3476	14.3%	695.2
1.MEDICINA 02	Cardiología	51	224	39	248	32	238	37	272	47	289	206	1271	1477	6.1%	295.4
1.MEDICINA 03	Gastroenterología	72	175	31	90	56	147	32	102	55	117	246	631	877	3.6%	175.4
1.MEDICINA 04	Neumología	19	129	20	109	12	120	20	92	19	99	90	549	639	2.6%	127.8
1.MEDICINA 05	Endocrinología	12	171	6	157	8	136	17	102	14	116	57	682	739	3.0%	147.8
1.MEDICINA 06	Psiquiatría	1	4	11	26	16	25	6	16	12	20	46	91	137	0.6%	27.4
1.MEDICINA 07	Neurología	20	83	6	75	10	81	13	75	13	70	62	384	446	1.8%	89.2
1.MEDICINA 08	Nefrología	9	31	4	15	3	22	2	11	4	21	22	100	122	0.5%	24.4
1.MEDICINA 09	Dermatología	127	224	59	210	90	180	71	140	93	144	440	898	1338	5.5%	267.6
1.MEDICINA 30	Hematología	1	8	1	6	1	9	0	4	2	10	5	37	42	0.2%	8.4
SUB-TOTAL		629	1563	489	1405	452	1406	391	1215	459	1284	2420	6873	9293	38.3%	1858.6
2.CIRUGIA 11	Cirugía gral.	55	59	27	51	25	68	22	51	12	79	141	308	449	1.9%	89.8
2.CIRUGIA 12	Otorrinolaringología	108	313	91	272	126	308	114	214	109	242	548	1349	1897	7.8%	379.4
2.CIRUGIA 13	Urología	5	31	29	87	28	96	19	77	22	100	103	391	494	2.0%	98.8
2.CIRUGIA 14	Traumatología	47	174	32	168	49	144	41	144	35	114	204	744	948	3.9%	189.6
2.CIRUGIA 15	Neuro-Cirugía	12	54	8	51	7	53	7	39	9	41	43	238	281	1.2%	56.2
2.CIRUGIA 16	Cirugía-Vascular	0	12	9	10	5	17	9	22	6	13	29	74	103	0.4%	20.6
2.CIRUGIA 25	Oftalmología	146	206	110	211	127	151	110	138	110	161	603	867	1470	6.1%	294.0
2.CIRUGIA 28	Fisiatría	14	36	19	29	11	27	13	42	6	59	63	193	256	1.1%	51.2
2.CIRUGIA 32	Cirugía Plástica	0	2	0	3	0	0	0	0			0	5	5	0.0%	1.0
SUB-TOTAL		387	887	325	882	378	864	335	727	309	809	1734	4169	5903	24.3%	1180.6
3.PEDIATR 18	Pediatría gral.	323	591	390	605	231	588	176	459	148	442	1268	2685	3953	16.3%	790.6
3.PEDIATR 19	Cirugía Infantil	18	44	15	63	16	44	9	39	14	55	72	245	317	1.3%	63.4
3.PEDIATR 20	Neurología infantil	43	45	28	32	23	18	22	36	27	34	143	165	308	1.3%	61.6
3.PEDIATR 21	Psiquiatría infantil	1	5	5	10	6	9	5	17	5	22	22	63	85	0.4%	17.0
3.PEDIATR 31	Urología Infantil	20	46	0	0	1	0	1	2	0	5	22	53	75	0.3%	15.0
SUB-TOTAL		405	731	438	710	277	659	213	553	194	558	1527	3211	4738	19.5%	947.6
4.GINE-OBS 23	Ginecología	198	433	151	452	132	348	157	312	143	385	781	1930	2711	11.2%	542.2
5.ODONTOL. 17	Odontología	83	319	67	232	43	232	45	264	55	278	293	1325	1618	6.7%	323.6
TOTAL		1702	3933	1470	3681	1282	3509	1141	3071	1160	3314	6755	17508	24263	100.0%	4852.6
B. OTROS																
6.OTROS 40	Nutrición	5	10	12	2	8	8	3	9	2	16	30	45	75	3.3%	15.0
6.OTROS 41	Fisioterapia	0	257	0	267	0	184	1	216	0	220	1	1144	1145	59.8%	229.0
6.OTROS 42	Fonoaudiometría	7	94	8	12	7	0	0	9	3	16	25	131	156	8.1%	31.2
6.OTROS 43	Foniatría	0	0	3	56	0	11	8	18	3	25	14	110	124	6.5%	24.8
6.OTROS 44	Caupimetria	0	0	7	0	0	0	1	0	0	0	8	0	8	0.4%	1.6
6.OTROS 45	Medición lente	29	18	75	43	88	5	39	39	20	51	251	156	407	21.3%	81.4
TOTAL		41	379	105	380	103	208	52	291	28	328	329	1586	1915	100.0%	383.0
C. EMERGENCIA																
1.MEDICINA 01	Medicina gral.	603		514		586		556		731		2990	0	2990	33.7%	598.0
2.CIRUGIA 11	Cirugía gral.	507		431		485		389		453		2265	0	2265	25.5%	453.0
3.PEDIATR 18	Pediatría gral	579		522		719		564		506		2890	0	2890	32.6%	578.0
4.GINE-OBS 23	Ginecología	123		144		146		154		156		723	0	723	8.2%	144.6
TOTAL		1812	0	1611	0	1936	0	1563	0	1846	0	8868	0	8868	100.0%	1773.6

診療科別入院患者統計及び新生児統計

RESUMEN GENERAL DEL CUPO (AÑO)		1917						
		1916	1917	1918	1919	1920	1921	1922
MEDICINA	Camas Disponibles	31700	21075	19075	18750	18750	18750	18750
	Extensión día anterior	12732	0	0	0	0	0	12732
	Nuevos pacientes	5005	1032	1810	1100	1216	1181	
	Traslados Ingres	562	99	119	172	118	104	
	Altas pacientes	5571	1026	1051	1057	1312	1053	
	Traslados egresos	710	35	146	150	185	131	
	-Antes 48 horas de Hosp.	120	21	13	25	31	31	
	-Después 48 horas de Hosp.	219	31	47	40	30	63	
	Ingres Egresos mismo D.	20	0	0	0	0	20	
	Días pacientes	50017	9112	10021	12183	12126	13759	
Días de estado de los Egre.	8552	0	0	0	0	8552		
QUIRURJIA	Camas Disponibles	91815	21075	19075	18750	18750	18750	
	Extensión día anterior	14624	0	0	0	0	14624	
	Nuevos pacientes	6575	1222	1271	1453	1211	1251	
	Traslados Ingres	744	111	150	129	172	174	
	Altas pacientes	6819	1238	1351	1423	1426	1300	
	Traslados egresos	403	75	76	87	71	94	
	-Antes 48 horas de Hosp.	33	5	8	5	8	7	
	-Después 48 horas de Hosp.	82	15	24	13	9	21	
	Ingres Egresos mismo D.	24	0	0	0	0	24	
	Días pacientes	63553	13009	13273	14081	14337	14631	
Días de estado de los Egre.	8126	0	0	0	0	8126		
PEDIATRIA	Camas Disponibles	81217	14172	10300	10250	17181	16426	
	Extensión día anterior	12018	0	0	0	0	12018	
	Nuevos pacientes	8654	1718	1308	1313	1321	1426	
	Traslados Ingres	23	2	15	8	5	3	
	Altas pacientes	6471	1221	1271	1271	1331	1331	
	Traslados egresos	31	11	3	10	1	4	
	-Antes 48 horas de Hosp.	158	33	23	25	42	41	
	-Después 48 horas de Hosp.	327	53	62	42	67	103	
	Ingres Egresos mismo D.	56	0	0	0	0	56	
	Días pacientes	51217	7541	9141	10264	12230	12068	
Días de estado de los Egre.	8101	0	0	0	0	8101		
GINECO	Camas Disponibles	10411	0	0	0	2071	8375	
	Extensión día anterior	2530	0	0	0	0	2530	
	Nuevos pacientes	1231	0	0	0	175	1025	
	Traslados Ingres	27	0	0	0	2	25	
	Altas pacientes	1213	0	0	0	180	1025	
	Traslados egresos	35	0	0	0	3	32	
	-Antes 48 horas de Hosp.	0	0	0	0	0	0	
	-Después 48 horas de Hosp.	0	0	0	0	0	0	
	Ingres Egresos mismo D.	11	0	0	0	0	11	
	Días pacientes	4232	0	0	0	592	3700	
Días de estado de los Egre.	2311	0	0	0	0	2311		
O.I.I	Camas Disponibles	9750	2072	2072	2051	1070	1025	
	Extensión día anterior	1414	0	0	0	0	1414	
	Nuevos pacientes	726	167	172	120	137	110	
	Traslados Ingres	527	105	116	107	107	92	
	Altas pacientes	495	90	103	72	88	21	
	Traslados egresos	813	173	189	162	156	131	
	-Antes 48 horas de Hosp.	134	21	21	26	32	21	
	-Después 48 horas de Hosp.	106	42	52	29	36	27	
	Ingres Egresos mismo D.	12	0	0	0	0	12	
	Días pacientes	7006	1444	1574	1345	1271	1452	
Días de estado de los Egre.	319	0	0	0	0	319		
TOTAL	Camas Disponibles	231951	50007	50173	50004	57535	63146	
	Extensión día anterior	45126	0	0	0	0	45126	
	Nuevos pacientes	21020	3706	3872	4021	4400	5053	
	Traslados Ingres	1071	317	408	367	464	320	
	Altas pacientes	20470	3556	3726	3652	4117	4720	
	Traslados egresos	2900	351	412	417	419	370	
	-Antes 48 horas de Hosp.	453	91	65	81	117	106	
	-Después 48 horas de Hosp.	814	141	145	174	150	214	
	Ingres Egresos mismo D.	123	0	0	0	0	123	
	Días pacientes	190107	31110	34070	37075	40562	45637	
Días de estado de los Egre.	28271	0	0	0	0	28271		
NACIDOS	Extensión Día Anterior	1220	0	0	0	0	1220	
	Nacidos	501	0	0	0	0	501	
	-Nacidos vivos	573	0	0	0	0	573	
	-Nacidos muertos	2	0	0	0	0	2	
	Recien Nacidos egresados	601	0	0	0	0	601	
	-Vivos	602	0	0	0	0	602	
	-Fallecidos	2	0	0	0	0	2	
	Días Recien Nacidos	1225	0	0	0	0	1225	
	Días Cunas recien nacidos	675	0	0	0	0	675	
	Días estado de R.N.Egre.	1074	0	0	0	0	1074	

- 1 - 内科
- 2 - 外科
- 3 - 小児科
- 4 - 産婦人科
- 5 - ICU
- 6 - 総計
- 7 - 新生児

- CAMAS DISPONIBLES : 稼働病床数
- EXTENCION LA DIA ANTERIOR : 前患
- NUEVOS PACIENTES : 新患
- TRANSLADOS INGRESOS : 転入患者数
- ALTAS PACIENTES : 退院患者数
- TRANSLADOS EGRESOS : 転出患者数
- ANTE 48 HORAS DE HOSP. : 48時間以内の死亡患者数
- DESPUES 48 HORAS DE HOSP. : 48時間以後の死亡患者数
- INGRESOS, EGRESOS MISMO DIA : 同日入院退院患者数
- DIAS PASIENTES : 入院患者延べ数
- DIAS DE ESTADOS DE EGRESOS : 入院患者延べ数

- NACIDOS EXTENCION LA DIA ANTERIOR
- NACIDOS : 出生数
- NACIDOS VIVOS : 生産数
- NACIDOS MUERTOS : 死産数
- RESIEN NACIDOS EGRESADOS : 新生児退院数
- VIVOS : 経過退院(生)
- FALLECIDOS : 死亡退院数
- DIAS RESIEN NACIDOS : 新生児延べ数
- DIAS CUNAS RESIEN NACIDOS : 稼働病床延べ数
- DIAS DE ESTADOS DE R. N. EGRESOS

INTEROS RESUMEN MENSUAL DEL CENSO MENSUAL AÑO 1972

	TOTAL	ENERO	FEBRE	MARZO	ABRIL	MAYO
MEDICINA						
Camas Disponibles	: 7600	1550	1450	1550	1500	1550
Extencia día anterior	: 5234	1094	841	1112	1066	1121
Nuevo pacientes	: 474	114	95	112	73	80
Traslados Ingres	: 52	4	13	13	10	12
Altas pacientes	: 424	100	88	88	72	76
Traslados egresos	: 53	12	18	16	5	8
-Antes 48 horas de Hosp.	: 2	1	0	0	1	0
-Despues 48 horas de Hosp.	: 31	5	7	7	7	5
Ingres Egresos mismo D.	: 6	0	2	3	1	0
Días pacientes	: 5250	1094	830	1123	1065	1124
Días de estada de los Egre.:	: 0					
QUIRURGIA						
Camas Disponibles	: 7600	1550	1450	1550	1500	1550
Extencia día anterior	: 5956	1254	1117	1231	1189	1160
Nuevo pacientes	: 633	127	114	121	135	136
Traslados Ingres	: 69	16	14	17	9	13
Altas pacientes	: 638	118	125	127	134	134
Traslados egresos	: 50	13	9	6	9	13
-Antes 48 horas de Hosp.	: 1	0	0	0	0	1
-Despues 48 horas de Hosp.	: 9	2	1	1	2	3
Ingres Egresos mismo D.	: 6	0	2	0	1	3
Días pacientes	: 5966	1254	1117	1235	1189	1161
Días de estada de los Egre.:	: 0					
PEDIATRIA						
Camas Disponibles	: 7144	1457	1353	1457	1410	1457
Extencia día anterior	: 5501	1082	1095	1143	1080	1101
Nuevo pacientes	: 658	121	135	153	133	116
Traslados Ingres	: 7	4	2	1	0	0
Altas pacientes	: 593	103	124	134	127	111
Traslados egresos	: 3	1	0	1	0	1
-Antes 48 horas de Hosp.	: 1	0	1	0	0	0
-Despues 48 horas de Hosp.	: 58	13	13	11	11	16
Ingres Egresos mismo D.	: 7	0	1	6	0	0
Días pacientes	: 5512	1090	1095	1157	1075	1095
Días de estada de los Egre.:	: 0					
GINECOLOGIA						
Camas Disponibles	: 3496	713	667	713	690	713
Extencia día anterior	: 1753	299	397	302	393	362
Nuevo pacientes	: 486	73	103	98	116	96
Traslados Ingres	: 17	3	5	5	2	2
Altas pacientes	: 476	68	106	100	110	92
Traslados egresos	: 16	1	6	5	1	3
-Antes 48 horas de Hosp.	: 0	0	0	0	0	0
-Despues 48 horas de Hosp.	: 2	1	0	0	1	0
Ingres Egresos mismo D.	: 2	0	1	0	0	1
Días pacientes	: 1764	305	394	300	399	366
Días de estada de los Egre.:	: 0					
U.T.I						
Camas Disponibles	: 760	155	145	155	150	155
Extencia día anterior	: 538	93	103	117	125	120
Nuevo pacientes	: 56	12	8	13	14	9
Traslados Ingres	: 54	15	11	10	6	12
Altas pacientes	: 10	2	0	3	2	3
Traslados egresos	: 71	15	12	18	12	14
-Antes 48 horas de Hosp.	: 0	0	0	0	0	0
-Despues 48 horas de Hosp.	: 24	7	5	5	3	4
Ingres Egresos mismo D.	: 2	0	1	0	1	0
Días pacientes	: 565	96	106	114	129	120
Días de estada de los Egre.:	: 0					
TOTAL						
Camas Disponibles	: 26600	5425	5075	5425	5250	5425
Extencia día anterior	: 19002	3822	3538	3905	3853	3864
Nuevo pacientes	: 2307	447	455	497	471	437
Traslados Ingres	: 199	42	45	46	27	39
Altas pacientes	: 2147	391	413	452	445	416
Traslados egresos	: 199	42	45	46	27	39
-Antes 48 horas de Hosp.	: 4	1	1	0	1	1
-Despues 48 horas de Hosp.	: 124	28	26	24	24	22
Ingres Egresos mismo D.	: 23	0	7	9	3	4
Días pacientes	: 19057	3849	3550	3935	3857	3866
Días de estada de los Egre.:	: 0	0	0	0	0	0
NACIDOS						
Existencia Día Anterior	: 713	72	160	131	183	167
Nacidos	: 304	36	64	66	76	62
-Nacidos vivos	: 304	36	64	66	76	62
-Nacidos Muertos	: 0	0	0	0	0	0
Recien Nacidos egresados	: 293	33	64	68	74	54
-Vivos	: 293	33	64	68	74	54
-fallecidos	: 0	0	0	0	0	0
Días Recien Nacidos	: 724	75	160	129	185	175
Días Conas recien nacidos	: 2584	527	433	527	510	527
Días estada de R.N.Egre.:	: 0					

サンタクルス総合病院プロジェクト機材台帳（横行機材）

No.	機材名(期名)	機材名	メーカー名	型式	数量	償還住所	供当年度	種類	単価	合計金額	西内室
1	胃内鏡	GASTROINTESTINAL FIBERSCOPE	オリンパス	GIF-Q10	1	ELECTROMEDICINA	19871200	横行	1520000	1520000	伊佐
2	パーソナル	PERSONAL COMPUTER	NEC	PC9801 UM21	1	JICA	19880300	横行	390000	390000	伊佐
3	パソコンディスプレイ	DISPLAY	NEC	PC KD-854	1	JICA	19880300	横行	88000	88000	伊佐
4	プリンター	PRINTER	NEC	PR201H-01	1	JICA	19880300	横行	288000	288000	伊佐
5	タイプライター	TYPEWRITER	オリベツチ	ET-112	1	IEF-EMFERMERIA	19880300	横行	195200	195200	伊佐
6	ワープロ	WORD PROCESSOR	NEC	PWP-70H	1	JICA	19880300	横行	198000	198000	伊佐
7	カメラ	CAMERA	CANON	EOS 850	1	JICA	19880300	横行	123500	123500	伊佐
8	カメラフラッシュ	FLASH OF THE CAMERA	CANON	300EZ	1	JICA	19880300	横行	28000	28000	伊佐
9	パソコン消耗品	CONSUMABLES	NEC		1	JICA	19880300	横行	164000	164000	伊佐
10	ワープロ消耗品	CONSUMABLES	NEC		1	JICA	19880300	横行	50300	50300	伊佐
11	変圧器	TRANSFORMER	YOKYAMA	AR-1000	1	JICA	19880300	横行	12000	12000	伊佐
12	変圧器	TRANSFORMER	YOKYAMA	AR-1000	1	JICA	19880300	横行	18000	18000	伊佐
13	機材部品	PARTS			1	JICA	19880300	横行	12000	12000	伊佐
14	機材部品	PARTS			1	JICA	19880300	横行	18000	18000	伊佐
15	薬剤・試薬	DRUGS AND REAGENTS	CORNING		1	MANTENIMIENTO	19880400	横行	313219	313219	水原
16	中心静脈用カテーテル	CATHETER OF CVP	ARGYLE		1	JICA	19880600	横行	1245100	1245100	水原
17	中心静脈用カテーテル	CATHETER OF CVP	EDWARDS		3	QUIROFANO	19880600	横行	2044870	2044870	伊佐
18	打門線	ELECTRIC ANOSCOPE	エフ機器	K-201C	1	C.E.CIRUGIA	19880600	横行	21300	21300	伊佐
19	心電図記録用紙	RECORDING PAPER OF ECG	日本光電		1	ELECTRO MEDICINA	19880600	横行	112000	112000	伊佐
20	心電図用カテーテル	ECG CATHETER	日本光電		10	UTI	19880600	横行	31000	31000	伊佐
21	動脈圧測定用カテーテル	BLOOD PRESSURE MONITORING KIT	日本光電	SK-520	2	UTI	19880600	横行	24700	24700	伊佐
22	透析用カテーテル	DIALYSIS CATHETER	テルモ		1	ENFERMERIA	19880600	横行	78000	78000	伊佐
23	延長ケーブル	EXTENSION TUBE	トッパ		3	RAYOS-X	19880600	横行	17100	17100	伊佐
24	血管造影カテーテル	ANGIOGRAPHIC CATHETER	CORDIS	No. 502-101D	1	UTI	19880600	横行	5700	5700	伊佐
25	血管造影カテーテル	ANGIOGRAPHIC CATHETER	CORDIS	ACS-222	1	UTI	19880600	横行	9000	9000	伊佐
26	圧力パッド(動脈圧)	PRESSURE BAG	日本光電	ACS-222	1	UTI	19880600	横行	9000	9000	伊佐
27	圧力パッド(動脈圧)	PRESSURE BAG	日本光電	Y-250	1	ALMACEN	19880600	横行	52000	52000	伊佐
28	心電図電極	ELECTRODE	ARGYLE		10	QUIROFANO	19880600	横行	21400	21400	伊佐
29	胸管ドレーン	THORACIC CATHETER	ARGYLE		1	LABORATORIO	19880600	横行	41800	41800	伊佐
30	胸管ドレーン	ELECTRODE HOLDER	ARGYLE		1	LABORATORIO	19880600	横行	213200	213200	伊佐
31	検査機器部品	PARTS	EPENDORF	4700	1	LABORATORIO	19880600	横行	30400	30400	伊佐
32	マイクロピペット	MICROPIPETE	EPENDORF	4700	1	LABORATORIO	19880600	横行	30400	30400	伊佐
33	マイクロピペット	MICROPIPETE	EPENDORF	4700	1	LABORATORIO	19880600	横行	30400	30400	伊佐
34	無電圧装置	VOLTAGE STABILIZER	YUTAKA ELEC.	UPS 1010	1	JICA	19880600	横行	450000	450000	伊佐
35	教育用ビデオ	VIDEO FOR EDUCATION			23	JICA	19880600	横行	739900	739900	伊佐
36	辞書(辞書)	DICTIONARY			13	JICA	19880600	横行	26490	26490	伊佐
37	コンピュータソフト	SOFT OF COMPUTER	NEC		4	JICA	19880600	横行	309700	309700	伊佐
38	医療機器部品(種々)	PARTS			1	MANTENIMIENTO	19880600	横行	1574750	1574750	伊佐
39	検査室部品	PARTS FOR LABORATORY			1	LABORATORIO	19880700	横行	198200	198200	伊佐
40	検査室(検査用)	MEDICAL BOOKS			9	JICA	19880900	横行	90000	90000	伊佐
41	書籍・スライド	BOOKS AND SLIDE FOR EDUCATION			1	JICA	19880900	横行	337135	337135	菅原
42	書籍	BOOKS			1	JICA	19881000	横行	50000	50000	伊佐
43	手術用消耗品	DRUGS ETC			1	QUIROFANO	19881000	横行	1587820	1587820	伊佐・森
44	消化器管	MEDICAL BOOKS			1	JICA	19880600	横行	182800	182800	伊佐
45	消化器管	X-RAY TUBE	TOSHIBA		1	RAYOS-X	19880600	横行	1550000	1550000	伊佐
46	医療機器部品(種々)	PARTS			1	MANTENIMIENTO	19880600	横行	847957	847957	伊佐
47	医療機器部品(種々)	PARTS			1	MANTENIMIENTO	19880600	横行	613000	613000	伊佐
48	器具	TOOLS			1	MANTENIMIENTO	19881000	横行	205270	205270	伊佐
49	整形外科手術器具一式	ORTHOPEDIC SURGICAL INSTRUMENTS			1	QUIROFANO	19881100	横行	1192580	1192580	伊佐
50	顕微鏡フアイバー	ENT FIBERSCOPE	MACHIDA	ENI-30S-11	1	SET	19891200	横行	321000	321000	伊佐
51	光源	LIGHT SOURCE FOR FIBERSCOPE	MAGASHIMA	SL-5	1	SET	19891200	横行	98000	98000	伊佐
52	フアイバーTVカメラ	FIBERSCOPE TV CAMERA	MAGASHIMA	SL-5	1	SET	19891200	横行	753700	753700	伊佐
53	手術用顕微鏡レンズ	ATTACHMENT LENS FOR MICROSCOPETOPCON		200mm	1	QUIROFANO	19891200	横行	200000	200000	伊佐

ワンタクルス総合病院プロジェクト機材台帳（横行機材）

No.	機材名(和名)	機材名	メーカー名	型式	規格	整備場所	供与年度	種類	通算	単価	合計金額	備付金
54	耳鼻科手術器具一式	ENT SURGICAL INSTRUMENTS			1SET	QUIROFANO	19891200	横行	幸	140000	140000	原山
55	デジタル体温計	DIGITAL THERMOMETER	TERUMO	IMIN	10	ENFERMERA	19900100	横行	幸	7695	76950	本田
56	天秤秤	SCALE FOR 2 KG	MARUMO		5	JICA?	19900100	横行	幸	41990	209950	本田
57	アルコールクォース	STERILIZING CASE	TAKETI		1	RAYOS-X	19900100	横行	幸	93100	93100	本田
58	アルコールクォース	STERILIZING CASE	TAKETI		1	QUIROFANO	19900100	横行	幸	93100	93100	本田
59	血圧計	MERCURIAL SPHYGMOMETER	ROOMA		10		19900100	横行	幸	14800	148000	本田
60	看護部洗剤品・部品	WASH PROSSOR	CANON		1	ENFERMERA	19900100	横行	幸	206500	206500	本田
61	日本橋ワープロ一式	LAMP FOR OVERHEAD PROJECTOR ETC			20	JICA	19900100	横行	幸	184300	184300	本田
62	事務用品	STENASCOPE			1	JICA	19900100	横行	幸	2650	2650	本田
63	聴診器	WRIGHT RESPIROMETER	IHI		1	JICA	19900100	横行	幸	101000	101000	本田
64	テレビカメラ	TV RELAY LENSE AND OBJ. LENSE	TOPCON		1	QUIROFANO	19891200	横行	幸	199900	199900	本田
65	手術用顕微鏡レンズ	MEDICAL BOOK AND VIDEO				JICA	19891200	横行	幸	302400	302400	本田
66	看護・ビデオ	MEDICAL EQUIPMENTS(PEDIATRICS)				JICA	19891200	横行	幸	214750	214750	本田
67	小児科用洗剤品	SPARE PARTS				MANTENIMIENTO	19900100	横行	幸	955840	955840	三好
68	医療機材部品(機々)	MEDICAL EQUIPMENTS(SURGERY)				CIRUGIA ETC.	19900100	横行	幸	150000	150000	本田
69	一般外科用洗剤品	8MM VIDEO CAMERA	SONY	TR-55	1SET	JICA	19900400	横行	幸	140000	140000	本田
70	8mmビデオカメラ	PORTABLE 8MM VIDEO	SONY	CV-9	1SET	JICA	19900400	横行	幸	212900	212900	本田
71	ビデオ編集装置	SONY ETC.				JICA	19900400	横行	幸	1107220	1107220	本田
72	ビデオ編集装置	CATHERERS FOR ANGIO. CONTRAST				RAYOS-X	19900900	横行	幸	648270	648270	本田
73	放射線診療用機材	TUR SET, URINE CATHETERS, ETC	OLYMPUS, ETC			QUIROFANO	19901200	横行	幸	389000	389000	本田
74	泌尿器科用診療器具	ULTRASONIC BLOOD FLOW METER	MAGASIMA	BL	1SET	QUIROFANO	19901200	横行	幸	222350	222350	本田
75	耳鼻科手術用マイクロドリル	MICRO HAND DRILL	MAGASIMA			QUIROFANO	19901200	横行	幸	559200	559200	本田
76	耳鼻科手術用機材	MENT INSTRUMENTS	NAGASIMA			ICU	19901200	横行	幸	397530	397530	本田
77	耳鼻科手術用機材	PULSE OXIMETER, SENSOR	MELCORE	N-200	1SET		19901200	横行	幸	955600	955600	本田
78	パルスオキシメータ及びびびり	SPARE PARTS				MANTENIMIENTO	19901200	横行	幸	344350	344350	三好
79	ICU診療用機材	ULTRASONIC BLOOD FLOW METER	MOKUSAN	BL	1	QUIROFANO	19901200	横行	幸	561790	561790	三好
80	医療機材部品(機々)	MEDICAL EQUIPMENTS(SURGERY)				QUIROFANO	19901200	横行	幸	261200	261200	三好
81	超音波血液測定装置	PTCD SETS	COOK			QUIROFANO	19901200	横行	幸	115390	115390	三好
82	超音波血液測定装置	LAND, ETC.				JICA	19901200	横行	幸	85906	85906	三好
83	P.T.C.D.用器具セット	MEDICAL BOOKS				JICA	19901200	横行	幸	559200	559200	本田
84	研究資料整理用機材	PULSE OXIMETER, SENSOR	MELCORE	N-200	1SET	MEDICINA	19901200	横行	幸	240000	240000	本田
85	医学図書	BLONCHO BLOOD VESSEL MODEL	AGE MEDICAL			MEDICINA	19901200	横行	幸	189000	189000	本田
86	呼吸器呼吸器用機材	MEDICAL INSTRUMENTS				MEDICINA	19901200	横行	幸	700120	700120	本田
87	呼吸器呼吸器用機材	PULSE OXIMETER, SENSOR	MELCORE	N-200	1SET	PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	409920	409920	本田
88	呼吸器呼吸器用機材	MEDICAL BOOKS FOR PEDIATRICS				PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	30630	30630	本田
89	呼吸器呼吸器用機材	MEDICAL INSTRUMENTS(PEDIATRICS)				PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	427800	427800	本田
90	小児科用医学図書	MEDICAL BOOKS FOR PEDIATRICS				PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	441100	441100	本田
91	超音波胎児心音測定器	ULTRASONIC DOPPLERFETAL HEART TOITSU	FD-200			PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	219900	219900	本田
92	超音波胎児心音測定器	MEDICAL INSTRUMENTS(PEDIATRICS)				PIDIASTRIA	19910200	横行	幸	168000	168000	本田
93	小児科用診療機材	WORD PROCESSOR	NEC	PWP-70K	1	JICA	19910200	横行	幸	14500	14500	本田
94	ワープロソフト	VIDEO TITLER MEMORY CARD				JICA	19910200	横行	幸	196800	196800	本田
95	研究資料整理用機材	OVER HEAD PROJECTOR	SONY	DTH-062V	2	JICA	19910500	横行	幸	31600	31600	本田
96	研究資料整理用機材	PARIS/AUTOMATIC TISSUEFIXING	KICOH	812R	1	JICA	19910500	横行	幸	241742	241742	本田
97	病理学用機材	MEDICAL BOOKS	SAKURA SEIKI		17	PATOLOGIA	19910500	横行	幸	195000	195000	本田
98	病理学用機材	BIOPSY FOR PATOLOGY				PATOLOGIA	19910700	横行	幸	19350	19350	本田
99	病理学用機材	MEDICAL BOOKS FOR PATOLOGY				JICA	19910700	横行	幸	797336	797336	本田
100	病理学用機材	TEACHING HEAD TH-L SET	NIKON		2	PATOLOGIA	19910800	横行	幸	190800	190800	本田
101	病理学用機材	MEDICAL INSTRUMENTS(PEDIATRICS)				PIDIASTRIA	19911200	横行	幸	130800	130800	本田
102	医学図書	MEDICAL BOOKS				JICA	19911200	横行	幸	484000	484000	本田
103	医学図書	URETHRAL SOUND DITTEL CATHETER				QUIROFANO	19920200	横行	幸	484000	484000	本田
104	泌尿器科用診療器具	HARD NASOPHARYNGOSCOPE	NAGASIMA			QUIROFANO	19920200	横行	幸	390000	390000	本田
105	泌尿器科用診療器具	HARD NASOPHARYNGOSCOPE	NAGASIMA			QUIROFANO	19920200	横行	幸	876000	876000	本田
106	内視鏡用機材	CCD-VIDEO CAMERA	NAGASIMA	SN-3	1	QUIROFANO	19920200	横行	幸	390000	390000	本田
107	パルスオキシメータ及びびびり	PULSE OXIMETER, SENSOR	MELCORE	N-200	1SET	QUIROFANO	19920200	横行	幸	86000	86000	本田
108	麻酔科用機材	MEDICAL INSTRUM. (ANESTHEOLOGY)				QUIROFANO	19920200	横行	幸	36000	36000	本田

TOTAL 38887488

ワンタクルス総合病院プロジェクト

NO	機器名(別名)	メーカー名	型	設備場所	単位	数量	合計金額	単位金額
1	フロシエクター用コピー機	三洋	MODEL LOATGUINJI	JICA	1987/00/00供与現	\$	4450	4450
2	検査用テレビと台	SONY	KU-HFR(27)	JICA	1987/00/00供与現	\$	18470	18470
3	ビデオデッキ	SONY	BETARAX SL-5505	JICA	1988/00/00供与現	\$	1550	1550
4	ビデオデッキ	PANASONIC	NHS PU-1361	JICA	1988/00/00供与現	\$	550	550
5	ビデオカメラ	SONY	CCD-U90	JICA	1988/00/00供与現	\$	410	410
6	ビデオカメラ	BRAUN	PAXIMAT 325 PROGRAM 6F	JICA	1988/00/00供与現	\$	1780	1780
7	ビデオカメラ			QUIROFANO	1988/00/00供与現	\$	868.26	868.26
8	ビデオカメラ			PEDIATRIA	1988/00/00供与現	\$	60	60
9	ビデオカメラ			EMERGENCIA	1988/00/00供与現	\$	270	270
10	ビデオカメラ			QUIROFANO	1988/00/00供与現	\$	33.75	337.5
11	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	100	7000
12	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	930	930
13	ビデオカメラ			ALMACEN	1988/00/00供与現	\$	858	858
14	ビデオカメラ			JICA	1988/00/00供与現	\$	11719980	11719980
15	ビデオカメラ			ELECTROMEDICINA	1988/00/00供与現	\$	2016	2016
16	ビデオカメラ			UTI	1988/00/00供与現	\$	2016	2016
17	ビデオカメラ			UTI	1988/00/00供与現	\$	858000	858000
18	ビデオカメラ			QUIROFANO	1988/00/00供与現	\$	8730	8730
19	ビデオカメラ			ELECTROMEDICINA	1988/00/00供与現	\$	8730	8730
20	ビデオカメラ			LIFESCOPE 11	1988/00/00供与現	\$	6870	6870
21	ビデオカメラ			LIFESCOPE 8	1988/00/00供与現	\$	5524	5524
22	ビデオカメラ			LIFESCOPE 6	1988/00/00供与現	\$	5524	5524
23	ビデオカメラ			CIRUGIA	1988/00/00供与現	\$	5524	5524
24	ビデオカメラ			MEDICINA	1988/00/00供与現	\$	5524	5524
25	ビデオカメラ			QUIROFANO	1988/00/00供与現	\$	1460	1460
26	ビデオカメラ			ELECTROMEDICINA	1988/00/00供与現	\$	1100000	1100000
27	ビデオカメラ			UTI	1988/00/00供与現	\$	13000	13000
28	ビデオカメラ			ART-1500	1988/00/00供与現	\$	3750000	3750000
29	ビデオカメラ			P-1	1988/00/00供与現	\$	145000	145000
30	ビデオカメラ			MEDICINA	1988/00/00供与現	\$	98900	98900
31	ビデオカメラ			CONSULTA EXTERNA	1988/00/00供与現	\$	98900	98900
32	ビデオカメラ			EMERGENCIA?	1988/00/00供与現	\$	125000	125000
33	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	30000	30000
34	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	30000	30000
35	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	30000	30000
36	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	21000	21000
37	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	14900	14900
38	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	25400	25400
39	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	20900	20900
40	ビデオカメラ			RAYOS-X	1988/00/00供与現	\$	25000	25000
41	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	66	6600
42	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	190	19000
43	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	1800	9000
44	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	1700	8500
45	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	25000	25000
46	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	1800	9000
47	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	82	4150
48	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	6800	13600
49	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	53	2650
50	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	4410	22050
51	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	4410	22050
52	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	7700	15400
53	ビデオカメラ			LABORATORIO	1988/00/00供与現	\$	5490	27450

